

いっしょに語ろう、もっと話そう。

2013

信頼

Vol. 59

中部大学後援会会報



特集：中部大学白書2013

キャンパスで見つけた

中部大学 スピリッツ

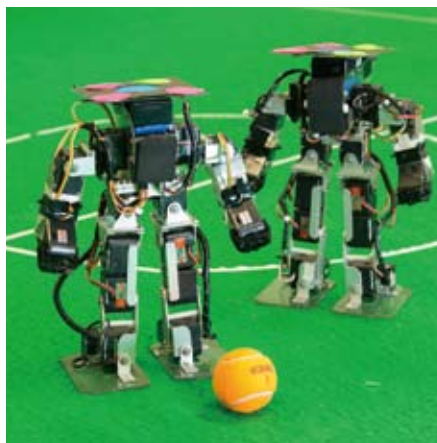
開学50周年記念特別座談会

半世紀の歩みと
次代の構想を語る

キャンパスで見つけた 中部大学スピリッツ

キャンパス、そこは学生たちの学び舎であり、人間関係を育む一つの社会。自らを高め、磨きをかけるステージでもあります。今回の特集は、春日井キャンパスを散策して見つけた“中部大学らしさ”をご紹介します。キャンパスには、先人、先生、学生の、幾多の思いが込められた素敵なモノや場所がたくさんありました。

ロボットにかける夢



工学部のとある教室に並ぶ数体の自律型ロボット。学生が主体となり、各種ロボットコンテストで優秀な成績を収められるような先進的なロボットを開発する「ロボットチャレンジ」の産物です。来春には、ロボット理工学科（届出中）が開設予定。さらなる活躍が期待されます。

世界を巡る

国際色豊かな歴史資料や民具、工芸品など約2700点を収蔵している「民族資料博物館」。長年海外で収集された数々の貴重な展示資料は、まさに地道な努力の結晶です。図書館の階段を上れば広がる世界各国の文化の香り。各国の民族の暮らしに思いを馳せることができます。



捨身の碑 しやしん



30号館の北側に建つ「捨身の碑」。2003年の応用生物学部の設立と同時に建てられた実験用動物の慰霊碑です。仏教の教えでは、自己犠牲は最高の布施行とされています。動物たちの犠牲に慣れてしまわないように、石碑に込められた思いを心に刻みます。

本物で磨く本気



映像・音響・編集のスタジオを備えた「メディア教育センター」は、実際のテレビ局と変わらないほど充実。授業で使ったり、番組を生放送するなど、本格的な映像メディア制作が行われています。マスコミ志望の学生にとっては、リアルな緊張感も貴重な体験です。

活力の源



5つの学生ホールをはじめ、キャンパス内の各所に点在する「学生食堂」。ボリューム満点で豊富なメニューは、学生や教職員の活力源。時には期間限定メニューもお目見えします。ランチ時には、どのメニューも人があふれんばかり。今日も、学生の食生活を支えています。

抜群の臨場感



「セルフトレーニングラボ」は、ICUや手術室をシミュレートした保健看護学科の実習室です。ラボ内には、手術台や人工呼吸器など各種設備のほか、実物大の訓練用シミュレーターを配置。実際の医療機関で行う臨地実習の前に、看護の現場に即した実技を習得できます。

感性を磨く



「器楽演奏室」には、世界各国の民族楽器がズラリ。授業で育むのは、楽譜どおりに演奏するだけでなく、物語のBGMや効果音を工夫する力。幼稚園教諭や保育士として働く上で欠かせない音楽に対する感性を磨くなど、子どもたちと向き合う技術を身に付けていきます。

中部大学発

食品工場の衛生管理システムをモデルに設計された「食品プラント」。今までにチーズ、ハム、パンなど、さまざまな食品を製造・加工してきました。昨年には、コーヒー牛乳を製造し、学内で販売。五感を駆使した体験学習を通じて、実践力を磨いています。



友好の証

「ロタンダ」の愛称で親しまれている白いドームの建造物を皆さんはご存知でしょうか。1994年に本学の開学30周年を記念してアメリカのオハイオ大学から寄贈されました。さらに今年、1973年に中部大学とオハイオ大学の間で提携が結ばれて40年目の記念の年です。



愛知県とともに



足を踏み入れると、ここが大学?!と思ってしまうような森林浴を楽しめるハイキングコースが出現。大学が、愛知県と森を守り育てている「あいち森と緑づくりモデル事業地」です。応用生物学部と現代教育学部の教育・研究フィールドとしても活用されています。

季節を飾る

初めて訪れた誰もが圧倒される本学の広大なキャンパス。豊かな自然に囲まれ、手入れの行き届いた植栽は、季節ごとにさまざまな花を咲かせます。桜、ツツジ、アジサイ、キョウチクトウ…。それは学内にいながらも花見や紅葉狩りができるほどの美しさです。

日々是精進



武道から球技まで、幅広く利用できる「武道体育館」。1階は剣道場で、2階は柔道、空手、少林寺拳法、合気道の道場。3階はバスケットコートで1面を確保できるアリーナを備え、4階には測定室などがあり、練習に集中できる最適な環境で、日々心と身体を鍛えています。

今に伝える和の心



千利休の茶室を原寸大に復元したものや、小豆島から移築・復元した古刹など、木々深い一角に建つ趣ある和風建築は、本学の中でも一見の価値あります。四季折々の風情を感じさせてくれるこの空間で、茶道部や留学生が日本の“心”を学んでいます。

建学の精神

「不言実行、あてになる人間」。不言実行といっても、ものを言わないというのではありません。口だけで何も実行しないことがいけないということです。思うことを行為にあらわすことによって、はじめて人間としての価値がある、ということ。創立者、三浦幸平先生の言葉です。

心の支え



人間関係、進路、恋愛…。学生が抱える悩みは多岐にわたります。「学生相談室」に常勤している臨床心理士の資格を持つカウンセラーの先生方は、長年学生のさまざまな悩みに応えてきた経験豊かな方ばかり。気軽に相談できる環境で、学生の生きる力を育みます。





敷地面積

430,000 m²

中部地区屈指の総合大学でありながら、その機能の全てをワンキャンパスに備えている中部大学。東京ドーム約8.6個分の広さを誇ります。最先端の研究と教育を支援する設備から、学生生活を楽しく彩る設備まで、ひとつの街と呼べるほど多種多様な施設・設備が整っています。



在学生数

10,579人

2011年度から、学生数が1万人を超えました。これは、単に学生数の増加を意味するだけではありません。それだけ違う夢や目標、考え方をを持ったたくさんの仲間たちと出会うチャンスがあるということ。ワンキャンパスに集まっているからこそ育まれる人間力は社会へ出ても生きてくるはずです。

工学部	3,220人	応用生物学部	1,313人
経営情報学部	1,312人	生命健康科学部	1,499人
国際関係学部	531人	現代教育学部	737人
人文学部	1,664人	大学院	303人

※2013年5月1日現在

就職内定率[※]

96.1%

全国平均の93.9%（文科省・厚労省調べ）を2.2ポイント上回った昨年度の就職内定率。中部圏でもトップクラスの就職実績です。働くということに真摯に向き合った学生の姿勢、就職への意欲を引き出すきめ細かな指導と充実したプログラムによって実現できた結果といえます。

※就職内定率：就職希望者に対する内定者の割合

学部学科数

7学部29学科

「ものづくり」を担う工科系大学として始まった中部大学。1984年には中部工業大学から中部大学へ名称変更し、今では文理融合の7学部29学科を擁する総合大学へと成長しました。来年度には、工学部にロボット理工学科（届出中）が誕生し、7学部30学科になる予定です。

クラブ・サークル数

65団体

正課授業だけでは得られない魅力があるのが課外活動です。先輩、後輩という関係から学べる礼儀やマナーはもちろん、学部学科を超えたつながりや人間関係など、得られるものは計り知れません。約2,600名を超える学生が所属し、熱い青春の日々を過ごしています。

同窓生数

67,594人

1964年に中部工業大学（1984年に中部大学へ名称変更）が開学し、その5年後の1969年9月に、卒業生同士の親睦をはかり、大学の発展に寄与することを目的とした同窓会が設立されました。そして現在、6万人を超える卒業生は、社会の多くの場で“あてになる人間”として活躍しています。

※2013年3月末現在

学生と大学の間立ち、 親睦を深めながら 学生支援と大学の発展を。



昨年より、会長に就任し、2年目を迎えることとなりました小澤です。謹んでご挨拶を申し上げます。

大学の主役である学生たちが、充実した学生生活を送ることができるよう、全面的に支援していくことが後援会の主題です。私は中部大学工学部のOBですが、その工学部に来年度よりロボット理工学科が開設される予定です。このように、大学は社会が求めている人材を輩出するため常に発展し続けています。先生方のご尽力により昨年度は前年を上回る就職率だと伺いました。世間では政治主導による経済効果により、景気が上向くのではないかという話もありますが、まだまだ実経済は厳しい状況が予想されており、就職活動にも大学の先生方だけでなく親の支援が求められています。もちろん親のエゴではいけません

が、親としての一意見を子どもへしっかり伝え、悩みや相談を聞いてあげることが支援の一つ。そんなときのために大学生活について理解しておくことも大切です。後援会からの案内や会報誌などが、大学を知る上での頼りになると思いますが、お子様の在籍中にキャンパスへ足を運んでいただくことをおすすめします。

「父母との集い」をはじめとした、保護者の方にご参加いただける行事を大学の先生方と協力しながら開催し、大学との接点を広げる機会を積極的につくっていくことも我々役員の役割だと思っています。学生のために、そして大学のために、引き続きサポートしていく所存ですので、皆さまのご協力とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

人間的な成長を目指して、 予測不可能な時代でも 豊かに生きる力を育てます。



後援会の皆さまには、日頃より教育支援、就職支援に対する援助をはじめ、さまざまなご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

簡単に大学の近況報告をさせていただきます。若者が、これからの予測不可能な時代を豊かに生きるため、また一生を通して日々勉強する習慣を身につけるためには、教育の充実が不可欠です。そこで本学独自の発案で、新しい試み「報酬型のインターンシップ」を始めようと、今年の3月に春日井商工会議所と協定を結びました。"人間は仕事にもまれて初めて成長し、人々の役に立つようになる"が、私の思い。大学の正規の授業と課外活動、そして三つの教育として、地域、企業とともに教育していただく新しいスタイルをつくり始めています。

また来年、中部大学は開学50周

年を迎えます。この50年を一つの契機として、次の50年を展望しつつ、さまざまな事業を進めています。その一つが「学生支援センター棟(仮称)」の建設です。学生自らが生きる力、成長する力、人のために働く力を身につける、また自分たちで将来を考え、未来を切り拓いていく、さらに学生一人ひとりが主人公となり、自分たちの持てる力をみんなで協力協働し、切磋琢磨することで力を伸ばす、そんな拠点にしたいと思っています。ただこれらは大学だけでできることではありません。後援会の皆さまには常日頃お願いしておりますが、学外の客員教授としてお子様のご指導にあたっていただきたいと思っています。引き続き、ご支援とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

CONTENTS

信頼

Vol. 59



表紙／経営情報学部 経営情報学科3年 野々村 侑輝さん(右)
現代教育学部 幼児教育学科3年 稲森 晴香さん(中央)
応用生物学部 応用生物化学科1年 高野 碧衣さん(左)

特集：中部大学白書2013

キャンパスで見つけた 中部大学スピリッツ

P.01



半世紀の歩みと 次代の構想を語る

P.07

全学をあげて就職をバックアップ

中部大学のキャリア支援

P.13

就職&進学の必勝ボイス

先輩たちの「これが私の歩んだ道」

P.17

Close Up

クラブ&サークル

P.19

充実した学生生活を応援！

「Let's CHALLENGE」

P.23

Year Album 2012～2013

P.24

学科&ゼミ紹介

P.28

学生主体の研究を支援！

チャレンジ・サイト活動報告



P.32

中部大学ボランティア・

NPOセンター活動報告

P.35

国際交流バックアップ

世界とつながる、世界が広がる。

P.37

父母インタビュー

知っておきたい子どものこと。

伝えておきたい親の思い。

P.39

学生インタビュー

未来への手紙～10年後の自分へ～

P.45

平成25年度中部大学後援会

「役員会・評議員会」報告

平成24年度事業報告／平成25年度事業計画／
平成25年度後援会役員・評議員名簿／後援会会則

P.47

Information

施設利用&イベント開催のご案内

P.50

My Campus Life

P.51

最新ニュース

News & Topics

P.53

開学50周年記念
特別座談会

半世紀の歩みと 次代の構想を語る

〔日時〕2013年6月7日(金)

〔場所〕ホテルプラザ勝川



中部大学同窓会長
村松 正彦氏

中部大学長
山下 興亜先生

春日井市長
伊藤 太氏

中部大学は来年、開学50周年を迎えます。

そこで今回の座談会では、本学と関わりの深い

春日井市より市長と商工会議所会頭をお招きするとともに

学長、同窓会長、後援会長を迎え、

”地域と共生する大学“であることを確かめ合い、

そこから生まれる”真の産官学連携“の

可能性と展望について語り合いました。

地域から見た 大学の歩みと印象

三浦 本日は、お集まりいただきましてありがとうございます。来年、開学50周年を迎える

本学は、春日井市とともに歩んできたと言っても過言ではあり

ません。さて、早速ですが、伊藤市長より本学への印象を伺えますでしょうか。

伊藤 私は春日井市で生まれ育ちました。小学生、中学生の頃

の遊び場に突然大きな建物ができて、驚いたことが最初の印象

です。その後、東京の大学を卒業して社会人となり、春日井市へ

戻ってきた際、中部工業大学から中部大学へ名称を変えられて

いたことで、さらなる発展を感じ

ました。また、私の子どもが中学

に入学する頃、中部工業大学附属

高等学校から春日丘高等学校に校名を変えられたことは、

子を持つ親として関心が高かったのを覚えています。

三浦 中部工業大学として開学したとき、創立者の三浦幸平

先生は最初から総合大学にするつもりでしたので、校章に”工大“の文字は入れず”大学“だけに

にしたようです。

伊藤 中部大学とのお付き合いは、春日井市議会議員の活動が

始まりでした。特に、市長になってからは審議会・検討会をはじめ、先生方の知恵をお借りしたり、アドバイスを相談、場合に

中部大学後援会長
小澤 寿行氏

中部大学後援会事務局長
中部大学学監
三浦 昌夫先生



春日井商工会議所会頭
松尾 隆徳氏

しましたが、段々企業の採用に
関わるようになって、あの時の恩
師の言葉がよく分かりました。
当時は、現在と違い各学科の先
生の紹介がなければ就職が困難
な時代。私は地域の業界団体、
中部エレクトロニクス振興会で
色々な役を仰せつかっていました
が、電子工学の先生にエレクトロ
ニクス技術系の顧問を務めていた
だいたことが縁で、中部大学との
繋がりができました。「私は遠慮
せず、学生を落第させている。出
来ない学生は這い上がってくるべ
きだ。甘やかして卒業はさせな
い」と言うほど、厳しくて怖い先
生でしたが、教育に対する姿勢
やお話を聞いていると、恩師の言
葉通りしっかり指導されている
と強く印象に残りました。

卒業生から見た 大学の足跡

三浦 それでは、卒業生の立場
から見た大学はいかがでしょう
か。村松同窓会長お願いします。

村松 私は中部工業短期大学
から中部工業大学になって3年
目に開設された電子工学科で
お世話になりました。大学に詳
しくなかった私は、「新しい教材
が揃い、電子工学を学ぶなら最
新の測定器が完備されている大
学がいいぞ」という高校の先輩の
アドバイスをきっかけに中部工
業大学を選びました。その頃、
電子工学はこれから花形の技術
になると言われていた時代で、
恩師にも恵まれ、大学には非常
に感謝しています。

三浦 本学には当時から数多
くの名物先生がいましたよね。
そのような先生方が現在の

松尾 今までに卒業生30名を
採用させていただいております。
真面目に仕事に取り組み、**建学
の精神「不言実行、あてになる
人間」を受け継いでいる**と感じ
ています。仕事はいいことばかり

芽を出してくるから、学生を採
用する立場になったときのこと
を考えて注目しておいたほうが
いい。新設大学で卒業生がおら
ず、就職には苦労するので、大学
も一生懸命教える。大学の理念
もしっかりしているから頭に入れ
ておくように」と助言をいただ
きました。その当時はそういう
ものかと、さほど気にせず帰郷

よつてはその分野に詳しい方を
紹介いただいております。50年の
歴史を一言で語るのには難しいで
すが、私にとっては時代とともに身
近で見えてきた大学です。

三浦 地元企業の立場から、松
尾会頭の本学への印象はいかが
でしょうか。

松尾 私が最初に中部大学を
認識したのは、中部工業大学が

できたばかりの昭和40年。東京
電機大学を卒業して名古屋に
帰ってくる際、当時お世話になっ
ていた恩師から「愛知県には中
部工業大学がある。中部工業大
学は、その昔、東京電機大学が
”実学尊重“を基に教えてきた
仕組みをそっくり受け継いでい
る大学だから、将来有望な学生
が輩出される大学になる。必ず

できたばかりの昭和40年。東京
電機大学を卒業して名古屋に
帰ってくる際、当時お世話になっ
ていた恩師から「愛知県には中
部工業大学がある。中部工業大
学は、その昔、東京電機大学が
”実学尊重“を基に教えてきた
仕組みをそっくり受け継いでい
る大学だから、将来有望な学生
が輩出される大学になる。必ず

学としての礎を築いてくださいました。

村松 就職活動では、新設の学科であるため先輩がおらず、受ける会社の入社試験にどのような問題が出題されるのか分かりませんでした。傾向と対策もできない中、恩師に相談したところ「基礎をやっておけば大丈夫」との助言をいただき、1、2

年次のテキストを見直して試験に臨んだものです。今でも出題された問題は覚えています。専門分野は、しっかり正解していたため入社できたと思っっています。この時の恩師の助言は、基礎ができていれば応用が利くという一つの教えとして、その後の仕事に対する姿勢にも繋がっています。

三浦 大学の学びを通じた経験が、社会に出てからも役に立っているのですね。小澤後援会長も卒業生でいらつしやいますが、振り返ってみていかがでしょうか。

小澤 私は、中部工業大学から中部大学へと名称変更したときが、4年生でした。それまで中部工業大学と言っていたのに、あ



春日井市長
伊藤 太氏
1949年愛知県生まれ。
1973年中央大学法学部政治学科卒業。
2006年より春日井市長。

る日突然、中部大学に名称が変わり、よく大学名を聞かれては、中部工業大学は知っていても中部大学は知らないと言われたものでした。卒業研究の恩師には、勉強もさることながら普段の行動も鍛えられ、夜中近くまで大学院生と一緒に研究した記憶があります。そのような大学生活を送ってきたため、会社に入ってからどんなことにもチャレンジする意欲が湧いていました。本当に中部大学を選んでよかったと今でも思っています。

次代への展望と

産官学連携

三浦 卒業生が本学に対して

感謝と良い印象を持っていることは、非常に喜ばしい限りです。

山下先生が学長になられてから大学改革に非常に力を注ぎ、本学が目指すべき具体的なビジョンが見えてきました。大学改革は、今まで本学が半世紀を歩んできた一つのまとめとなり、これからの先を見据えた取り組みです。これまでの取り組みと、これからの大学の展望を山下学長より語っていただけますか。

山下 私は、応用生物学部が開設された2001年に中部大学へ赴任し、10年以上が過ぎました。時代の経過とともに学部を開設し、世の中が必要としている人材の育成を目指して、これまで歩んで来ました。世の中

中に必要とされる人をつくるためには、必要としている世の中を知ることが重要です。創立者の三浦幸平先生が言われているように、それが大学づくりなのだと思います。現代教育学部が昨年完成年度を迎え、本当の意味での総合大学化ができたと考えております。今まで、

大学は拡大路線で来ましたが、50年足らずで1学部から7学部となり、世界中の学問と教育分野を学科として開設することは良かったのですが、少し急ぎすぎた感もあります。今後は

わけです。今後の方向性としては、個性的で多様化した大学だと考えています。多様化の重要項目は、「地域との共生」です。生きていく場所での、どのように真面目に、豊かに生きるかを抜きにして多様化は成り立ちません。だからこそ、「地育地活」が重要なのです。

三浦 教育改革にあたり、具体的な方法をお聞かせいただけますか。

山下 大学の教育は、学校教育法で決められた124単位を取得すれば卒業できます。そこに課外活動としてクラブ・サークルがあります。これらの学習と活動で大学教育は成り立ってきました。しかし、本当に世の中に役立つ人をつくるには、その枠組み内だけでは成り立たないと思っっています。仕事を通して生きるという経験を学び、どれだけ耐えるかを実践していかないと、今後の日本を支えていく根性は身に付けられません。そのため、「地域と共生する大学」として地元企業と連携した報酬型インターンシップを提案し

ています。正規の教育と課外活動という日本の高等教育の枠組みに加え、仕事を通して本来の意味で役に立つ人材をつくる教育です。もはや大学だけで全て教育できる時代ではありません。7割は大学が責任をもって教育して3割は学外で身に付けていかないと、本当に世の中のためになる人材をつくることはできないのではないのでしょうか。

生ずる大学」という言葉が山下学長から出ましたが、伊藤市長から見て中部大学に望むことは何でしょうか。

伊藤 「学生」「教授」「地域」、この大きな3つの分野でどう貢献していただけるかだと思います。山下学長のお話からも分かるように、中部大学は伝統が形成されつつある時期にきている気がします。三浦幸平先生の「不言実行」という精神を踏襲される中で人づくりができ、社会へ学生を送り出してこれた実績があります。世の中を見ますと、一人だけが目立つといった、派手な部分

が強調される状況があります。中部大学には**「建学の精神」**、**「不言実行」**の下、育ってきた「学生」

の質にも感じられる**「伝統や雰囲気」**というものがあつたのです。中部大学の校風・伝統は、これからも必要とされるものですので大切にしていきたいです、優秀な人材を世の中へ送り出してほしいと期待しています。

次に、「教授」です。学生たちにとって先生は、**「進路・やりたいことなど今後の人生を決める上で、非常に大きな影響を与える存在」**です。中部大学の特色のある素晴らしい先生方が今まで50年にわたり努力されてきました。現在では、卒業生の方々も教授になる世代も育ってきているので、学外で活躍されてきた先生と中部大学で学び育つた先生がうまく融合し、お互いに協力する中で大学の伝統をつくり、伸ばしていただけると思つています。

3つ目の「地域」については、山下学長が言われる「**「地育地活」**という観点からも、中部大学が春日市にあるということは**「本場にありたいこと」**です。優秀な学生を輩出し、素晴らしい先生が多くいらつしやることは、春日

井市としても**「強み」**です。市として地域活動、地域開発、介護支援など広範囲に渡ってやらねばならないことがある中で、ご協力いただき各活動の中心に入っていたり、地域と共生する大学「そのもの」です。

三浦 伊藤市長の話を受けて、松尾会頭も同じ地域の立場から感じられることはありますか。

松尾 私が今まで見てきた卒業生は、ものづくりの専門家でしたので、技術以外のことを言う「それは私の範疇にありません」と言われ、もう少し柔軟な考え方はできないものかと思つたものです。総合大学化されたことは、高度専門職業人を育成するという当初の目標の

ベースがありながら、それだけではない応用的なことにも対応できる能力を持った学生が社会に出るようになるのではないかと期待しています。私も工学系大を卒業しましたが、高度専門職業人の範疇で終わる人が本当に多い。そういった意味で、**「現在の学習環境は、幅の広い考え方ができる可能性を秘めた人材を地元地域へ輩出しやすくなり、以前のような心配はいらないと思つています。」**

山下 幅広くご要望に応えられる人材の育成に取り組まされるので、是非この地域で活躍できる人材を一緒につくっていきましょう。



春日井商工会議所会頭

まつお たかのり
松尾 隆徳氏

1943年愛知県生まれ。
1965年東京電機大学工学部電気工学科卒業。
現在、東洋電機株式会社代表取締役会長。



中部大学長
やました おきつぐ
山下 興亜先生

1940年岡山県生まれ。
名古屋大学大学院農学研究科教授、農学部長、副総長を経て2001年中部大学へ。2002年学長就任、現在に至る。



中部大学同窓会長
むらまつ まさひこ
村松 正彦氏

1947年愛知県生まれ。
1970年中部工業大学工学部電子工学科卒業。
中部電力株式会社入社を経て、現在、NDS株式会社。

総合大学化から 見えてきた 次なる可能性

三浦 専門分野のほかに、もう少し人間力と幅のある人が求められているわけですね。大学を中心として地域を巻き込む、真の産官学連携を発揮するべき時期を中部大学は迎えています。さて、皆様の発言から分かる通り、総合大学化したことにより新たな可能性が見えてきています。可能性を広げるために、大学は今後どうすべきでしょうか。

村松 私が人生で一番勉強したのは組織や人材をまとめる管理職になってからでした。会社に籍を置きながら別会社をつくる機会があり、そこに集まったメンバーは他業界分野の人、転職してきた人、新入社員など、年齢構成もバラバラ。そんな中で仕事を進め、人をまとめる経験を通

して、幅の広い思考能力などが勝手に身に付きましたが、そのような経験をトレーニングする場所や会社組織の目的を理解するカリキュラム、第三者視点で効率性の指摘などができる学習の場があるといいと思います。

三浦 確かにそのような生涯学習があるといいですね。制度として設けてもいいのかもしれない。

村松 人をまとめる立場となり本来の会社に戻った際、振り返ってみて大学の役割の大切さを感じたものです。卒業してから起こりえる困難や順序を早めに教えていただければ、大学時代に学んだことを思い出し、色々な課題に取り組むことができます。就職してしまうと、誰もが仕事に突っ走ってしまいがちです。卒業後も大学の活用、仕事に関連した相談などができるとよいですね。

三浦 卒業前、卒業後にもそのようなことは大事ですが、制度・システムとして中部大学は生涯学習に力を入れていくべきですね。同窓会組織を活用して

手続き方法をPRすることも大切ですね。戻ってきた卒業生をどのように応援・サポート・ケアするかを重点的に行えるようになると現在のキャリアアセンターに幅ができると思います。

山下 一昔前は、人生を企業に預けてよかったのですが、今の若者は人生を誰にも預けられない。この会社は、果たして何年もつのだらうかと心配ですよ。

松尾 昔はフラフラしていても社会が押し上げていってくれましたが、今の社会は押し上げればかりか、下へ落としていく一方ですからね。

山下 仕事は知れば知るほど、自ら仕事に対する価値観を持つものです。人に教えられた価値観・仕事感ではなく、自分で生



中部大学後援会長
おざわ としゆき
小澤 寿行氏

1963年愛知県生まれ。
1985年中部大学工学部電子工学科卒業。
現在、マスプロ電工株式会社開発部技術主幹。

です。多くの親御さんとお話を
して気付いたのですが、子ども
が理系か文系かによって、親の
考え方も少し違ってきます。理
系は勉強分野もはっきり分か
れているため目標もはっきりし
ていますが、文系は勉強分野や目
標が割と漠然としています。そ
のため、大学生活の中で何をし
たいのか、夢や目標を見つけて
もらえれば良いと思っっている親
御さんが多いのではないでしょ
うか。はっきりと子どもの将来
について話される方もいますが、
どんなところに就職できるので
しようかと、聞かれることもあ
ります。

山下 学部学科によって専門性
の度合いが異なりますからね。
小澤 総合大学の良さは、入学
したらその分野の勉強だけに限
らない選択肢の広さだと思いま
す。工学系で入学したけども、
文系の勉強がしたいとなれば
コースも選べ、変えられる。総合
大学の良さはまさしくそこにあ
り、それを充実・拡大させるこ
とで柔軟に勉強ができるはずで
す。このような柔軟な学びから、

**卒業後も大学を活用する生涯
学習や地域貢献に繋がる広が
りがあるのではないのでしょうか。**

伊藤 中部大学の強みは卒業
生の多くが春日井を中心とし
た東海三県に居ること。仲間・
先輩を今後どう生かしていくの
かが重要です。私は東京の大学
出身ですが卒業後に母校へ行
く機会は、ほとんどありません。
**大学は卒業生を大学へ帰
りさせるにはどうしたらいいの
かを考えるとよいのでしょうか**
せん。学生にとって大学時代は、
好きなことに取り組み、失敗や
挫折があっても自由に生活・行
動ができる、やり直しが利く4
年間です。学生を自由に活動さ
せ、指導するときには指導し、

卒業後も関わっていける大学が
よいですね。
松尾 例え学生時代に失敗し
ても、自分で責任がとれるよう
になれば、社会でも立派なこと
ができるものです。中部大学は
学ぶ環境が非常に良い。きれい
な自然環境の中に身を置いて生
活することは人材育成にも大
きな影響があると思います。

三浦 卒業後も大学に足を運
んでもらうためには、ホームペー
ジに情報を掲載するなど、大学
のさまざまな情報を卒業生に
向けて事前に広く告知する努
力をしなければなりませんね。
本学への提案などがあればお願
いします。
小澤 中部大生の良さは、とて

も真面目だということ。ただ、真
面目さはコミュニケーション不足
ということにも繋がりがやすく、
仲間の間ではコミュニケーション
がとれるかもしれませんが、社
会に出てさまざまな人の中に
入ったとき、コミュニケーションが
とりづらいことが考えられま
す。せっかく大学内に別の学科
分野を勉強する仲間が身近に
いますので、そういった学生間で
のコミュニケーションを在学中に
学生主導でできればいいのかな
と思います。クラブがその役割
を担っているというご意見もあ
りますが、全員がクラブ活動を
しているわけではありません。

そのような学生たちが自主的に
コミュニケーションのとれる機会
を与えていただけると人間教育
にも繋がっていくと思います。
山下 そのようなことも踏ま
え、開学50周年記念として「学
生支援センター棟(仮称)」を設
置します。学生の学生による学
生のための建物です。学生が元
気になれば、大学も元気になり
ます。これからは、予測不可能
な時代です。ですから学生は、

自分たちで自分たちの人生を
切り開く。これは言葉ではな
く、身体で覚えていくこと。これ
からは学生を一人の大人として
認め合うべきです。学生がいか
に教わるかではなく、学生が教
える場をいかに提供していくか
が大学の今やるべきことだと捉
えています。知識伝達型でもな
い、学生支援でもない、知識創
造型の教育をしようとしている
のです。新しい知を創造する学
びが社会で生きる人間の基本
であって、どんな小さなことから
でも新しい知をどのようにつ
くっていくのかが、新しい学習に
繋がると期待しています。

三浦 本日は、くしくも創立者
の命日です。このような日に、本
学への期待や展望について皆様
と意見を交わす場を持たしたこと
に、心より感謝申し上げます。
今後とも協力をよろしくお願
いいたします。



中部大学後援会事務局長
みうら まさお
三浦 昌夫先生(司会)
1933年愛知県生まれ。
1957年早稲田大学第一文学部卒業。
中部大学学監。

NECソフト(株)

人事総務部 三島様

企業名で判断せず、話を聞くことで幅も広がるはず。

当社が大切にしているのは、「技術」と「人間力」です。なかでも仕事を進めていく上で、お客様の対応、つまり相手の話をしっかり聞き、要望をくみ取るなどのコミュニケーション力は欠かせません。SEやソフトウェア開発などの技術職というと、理系のイメージを持たれる方も多いと思いますが、もちろん文系の学生も歓迎です。このように多くの企業が集まる説明会ですから、社名だけで判断せずに、業界研究や企業研究をするつもりで話を聞くことは、自分の将来の幅を広げることにもつながると思います。

中日本ダイカスト工業(株)

総務部 総務班 今西様

新卒ならではのチャンスを活かしてたくさんの企業を見てほしい。

大卒採用者の中でも、弊社は中部大学の学生さんを多く採用していますから、親近感があります。逆に皆さんにとっては、入社後に先輩がいるわけですから安心感があるといえるでしょう。この説明会は弊社を知っていただく大切な機会。ただ説明だけでなく、皆さんには必ず会社に来ていただくように話しています。この時期、新卒学生さんは、どの企業でも見られるチャンスです。できるだけ多くの企業を見学してほしいですね。見学したことが、入社後、仕事をする上でヒントになることもあるかもしれません。



学内企業説明会

毎年多数の企業が参加される「学内企業説明会」。なかでも2月に実施する説明会は、就職活動の本格的なスタートと位置付けられ、多くの学生が参加します。一方で学生と直接交流ができる企業の皆様は、どのような思いで参加されているのでしょうか。人事担当者の方にお話を伺いました。

全学をあげて
就職をバックアップ

中部大学の キャリア支援

就職も教育の一環と考えている中部大学では、入学直後から卒業まで4年間を通じてキャリア開発を支援しています。キャリア支援プログラムと担当教職員のきめ細かな指導もあり、2012年度は96.1%という高い就職率を達成しました。ここでは、さまざまな支援体制を紹介いたします。

ガイダンススケジュール (2013年度)

3年次

2014				2013				
1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月
			第5回就職ガイダンス 「就職試験対策①」					第1回就職ガイダンス 「進路選択について」
			第6回就職ガイダンス 「就職試験対策②」(履歴書添削)				第2回就職ガイダンス 「キャリアアプローテテスト」	
		第7回就職ガイダンス 「就職試験対策③」(面接練習)					第3回就職ガイダンス 「業界・企業研究」	
第9回就職ガイダンス 「学内企業説明会 事前ガイダンス」		第8回就職ガイダンス 「SPI対策模擬テスト」					第4回就職ガイダンス 「自己理解ワークショップ」	
	第10回就職ガイダンス 「学内企業説明会」							

※開催時期については、変更が生じる場合があります。

何ができるかよりも、
何がしたいのかで就職活動を。

学内企業説明会は、大学・学生に直接アピールできる魅力ある場です。今年の内定者に明るく優秀な中部大学の学生がいたことから、初めて参加しました。就職活動に対する意識が強く、当社のアットホームな社風に合っている学生が多い印象を受けました。各企業それぞれ採用したい人物像があると思いますが、弊社の場合、根底には入社後に企業内で新しい風を吹かせてくれることを期待しています。何ができるよりも何がしたいのか、どう成長していきたいのかというビジョンを持って就職活動に臨んでほしいです。

(株)ホームセンターアント

人事担当 鈴木様

企業と学生が触れ合う機会だからこそ、
普段の自分をアピールしてほしい。

春日井に拠点を置き、地元在住の学生を中心に採用していく方針の弊社にとって、中部大学の学生さんに特化して接触できる点がこの説明会の一番のメリットだと考えています。今後出店を加速していく予定の弊社にとって、リーダーシップのある人は高評価です。しかしながら、大学生全般に言えるのですが、真面目で特徴がつかみづらい傾向があります。もう少し自分のキャラクターを前面に押し出してほしいですね。人物重視の採用をおこなっていますので、積極的にアピールしてほしいと思います。

会社の説明だけに留まらず、
積極的な採用を考えて参加しています。

今日は大阪から来ました。東京にも進出していますが、今まさに中部地区での増強を進めている最中。いい人材がいれば採用したいという思いで参加しています。弊社は大規模な企業展には出展していません。このような合同説明会に参加し、直接学生さんとお会いして、興味があれば個別に説明会を開きますので参加してくださいという形を取っています。ですから、今日のようない説明会は弊社にとっても力を入れている重要な場。ぜひもっと自分自身をアピールしたり、積極的に質問したりしてほしいですね。

(株)TYK

人事部 矢武様

事前に調べ目的を持って臨むことで
短時間でも有意義な時間に。

学生さん一人ひとりから何を聞きたいのかを聞くことで、それに対して直接フィードバックできること、また密に話ができるので、何気ない会話の中で社内の雰囲気なども伝えられることはいい点ですね。皆さんは今日、この説明会を新しい企業を発見する場と捉えているかもしれませんが、ただ単に話を聞くだけでなく、事前に会社について調べて参加することをおすすめします。これは聞いておこう、あるいは別の会社でも同じ質問をしてみようと、目的を持って参加することで短い時間でも有効に使えたいと思います。

参加した
学生のコメント

やりたい仕事はまだ決まっていませんが、こんなにも企業はたくさんあるのだと実感しました。マンツーマンで親身に、また質問にも丁寧に応えてくださり、参加してよかったと思いました。

〈経営情報学科・男性〉

中部大のOBの方が来てくれていたりする企業には親近感があります。明日以降も、参加企業が掲載されているパンフレットを見て、気になる企業があれば参加しようと思っています。

〈環境生物科学科・男性〉

企業についてわからないことが多く、大学からの案内もあり参加しました。話を聞く中で、勉強している分野と一見関わりがなさそうな会社でも、学んだ分野を活かせるという発見がありました。

〈応用化学科・男性〉

興味のある企業に話を聞いてみようと思い参加しました。でも自分の学科とは違う理系の企業の話を知ると面白かったりして、自分の興味や働くことへの幅を広げてくれるよい機会だと思います。

〈コミュニケーション学科・女性〉

会社案内などには載っていない情報を聞くことができたのは今日の収穫です。直接人事の方と話すことで、イメージしていた内容と違ったりして、新たな発見もあってためになりました。

〈建築学科・男性〉

自分が通う大学ということもあり参加しやすく、安心です。大規模な企業展と比べて一つひとつのブースが小さいため、近い距離で話すことができ、いろいろなことを聞きやすい雰囲気でした。

〈食品栄養科学科・女性〉

就職活動を始めたばかりなので視野を広げようと思い参加しました。想像していた仕事だけでなく、企業活動の意外な一面を知ることができました。これからも多くの企業を見ていきたいです。

〈環境生物科学科・男性〉

4年次

10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	3月	2月
就活個別相談会			就活個別相談会			就活個別相談会		
学内企業説明会			学内企業説明会		学内企業説明会			
<p>中部大学では、卒業生全員が就職内定を獲得できるようサポートしています。 不明な点や相談があれば、キャリアセンターを活用するようにお伝えください。 また、複数企業から内定を得た場合もキャリアセンターへご相談ください。</p>								

仕事への理解を深める

インターンシップ

インターンシップは、将来のキャリアを意識した実習・研修を実際の企業等で体験する制度です。本学では、学部3年生・大学院修士1年生を中心にこない、ほとんどの学部学科で正課の科目として単位が認定されています。職業観や就労意識、また卒業研究への意識を高める有効な手段として、大いに活用していただいています。

■2013年度主なインターンシップ先

イシグロ農材(株)	東海ラジオ放送(株)	名古屋トヨペット(株)
(株)JTB中部	名古屋高速道路公社	春日井商工会議所
清水建設(株)	名古屋市衛生研究所	野村證券(株)
中日信用金庫	春日井市役所	(株)松河屋
東海テレビ放送(株)	(株)名古屋東急ホテル	(株)名鉄百貨店



〈インターンシップA〉
社会人として必要な基礎的知識やビジネスマナーを学びます。



〈インターンシップB〉
企業や官公庁等で実際に研修を受け、就業意欲の向上を目指します。

■受講までの流れ

- 1 **ガイダンスに参加(公務員試験対策講座のみ)**
講座担当の講師が出席し、講座内容や検定試験の状況などを説明します。
- 2 **講座申し込み**
受付期間中にキャリアセンターで申込みます。授業や部活動などと日程調整の上、申し込んでください。
- 3 **講座開講**
講義室は、開講確定後にHPや共通掲示板でお知らせします。講座初日にテキストをお渡しします。
- 4 **資格検定の申し込み(資格取得対策講座のみ)**
講座内で検定申し込み方法についてご説明します。検定料は講座料とは別料金ですのでご注意ください。

授業後に受講できる便利さが魅力

資格取得対策・ 公務員試験対策講座

キャリアセンターでは、積極的に視野を広げ新たな知識を吸収し、各自のキャリアアップにつなげようとする学生と公務員を目指す学生のため、大学内で受講できる資格取得対策・公務員試験対策講座を開講しています。後援会が受講料の一部を補助しているため、一般の資格専門学校よりも格安で受講できます。また、講義は多くの合格者を輩出した実績のある講師が担当。講義もわかりやすく、相談にも親身に応じます。

幸友会就職ナビ

幸友会会員企業だけの就職サイト「幸友会就職ナビ」は、中部大学の学生と幸友会企業を結ぶネットワーク。企業の概要等を確認後、そのままエントリーできます。



企業ガイド

中部大学と幸友会会員企業との太い絆で結ばれた心強い情報誌。在学生には、就職活動時の企業研究をはじめ、大いに活用してほしい一冊です。



携帯に便利な
B6サイズ!

太い絆で結ばれた心強い存在

中部大学幸友会

企業による後援組織「中部大学幸友会」の存在は、学生にとっても心強い味方です。幸友会は、さまざまな分野の企業が参加している支援機関で、その法人会員数は約730社を数えます。その多くの企業に、毎年2月に実施する「学内企業説明会」にご参加いただくことで、卒業生の多くが会員企業に就職を決めています。2012年度は、172社264人が幸友会会員企業へ就職し、卒業生全体の16%を占めました。



多くの企業では、よりよい人材を採用するための選抜方法として、まず筆記試験である程度人数を絞り込む方法をとっています。特に、大手人気企業になればなるほど膨大な応募者への対応から、その傾向は強くなっています。「筆記対策WEB講座(インターネットによる独学)」では、企業の筆記試験で使われる割合が特に多い「SPI2・一般常識」の実力向上を目指し、中部大生用で作成しました。練習問題を繰り返し活用することで「実力」と「自信」をつけていくことが大切です。インターネットによる学習ですの、自宅からいつでも何度でも受講できます。

早目の対策が大切です 筆記対策 WEB講座(無料)

就活生必携の一冊

就カツ手帳

「就カツ手帳」は、先輩方の経験やアドバイスをもとに、就職活動を成功させるためのノウハウをまとめた手帳です。3年次の就職ガイダンス(5月)で参加者全員へ配付しています。スケジュール、自己分析、企業分析など、色々書き込むことのできる、就職活動を強力にサポートする一冊です。

首都圏での就活を応援

東京事務所

2012年11月にオープンした中部大学東京事務所。インターネット環境や会議・セミナー室、休憩スペースなどが完備されており、卒業生の方や教職員だけでなく、学生の皆さんも活用できるスペースです。コピー機、更衣室などの設備利用や就職に関する相談など、首都圏での就職活動に活用できます。

東京都中央区日本橋2-16-13 ランディック日本橋ビル10階
TEL 03-5204-7075(月曜~金曜 AM10時~PM5時)

2012年度(2013年3月)卒業生の主な就職先

人文学部

㈱伊藤園/明治安田生命保険相互会社/愛知県警察本部/アドバンス電気工業㈱/伊勢湾海運㈱/㈱今仙電機製作所/サンテクノス㈱/岐阜県警察本部/㈱ジェイアール東海ホテルズ/中部ヘアコーラ販売㈱/大成㈱/中部国際空港旅客サービス㈱/トヨタカラー名古屋㈱/ニチハ㈱/尾西信用金庫/防衛省 陸上自衛隊/名鉄観光サービス㈱/㈱名鉄トヨタホテル

応用生物学部

㈱豊田自動織機/敷島製パン㈱/愛知製鋼㈱/㈱三和化学研究所/JAあいち中央/カネ美食品㈱/㈱あらた/オザワ科学㈱/㈱両口屋是清/金印㈱/ヤマサちくわ㈱/ツキオカフィルム製薬㈱/日本郵便㈱/日進乳業㈱/日東エフシー㈱/フルハシEPO㈱/防衛省 陸上自衛隊/㈱ポーラ/有楽製菓㈱/リゾートトラスト㈱/マックスバリュ中部㈱/中部薬品㈱

生命健康科学部

名古屋大学医学部附属病院/名古屋市立大学病院/春日井市民病院/あいち小児保健医療総合センター/トヨタ記念病院/名古屋市役所/刈谷豊田総合病院/ニプロ㈱/浜松市消防局/三菱化学メディアエンス㈱/大正富山医薬品㈱/帝人在宅医療㈱/名古屋セントラル病院/中北薬品㈱/伊勢久㈱/日本ステリ㈱/㈱メディック/㈱八神製作所

現代教育学部

愛知県・岐阜県・三重県・静岡県・奈良県・神奈川県 公立小学校/公立/私立の幼稚園、保育園/春日井市役所/㈱小学館集英社プロダクション/丸善㈱/瀬戸信用金庫/日本空調サービス㈱/東海交通機械㈱/日産プリンス名古屋販売㈱/㈱トシシ/㈱学書/社会福祉法人名古屋手をつなぐ育成会/名鉄局印刷㈱

工学部

清水建設㈱/JR東海/スズキ㈱/新東工業㈱/トヨタ紡織㈱/大和ハウス工業㈱/JR西日本/愛知電機㈱/高砂熱学工業㈱/㈱トーエネック/愛知県警察本部/㈱きんでん/小牧市役所/住友電装㈱/大同メタル工業㈱/㈱ニッセイ/日本空調サービス㈱/㈱パロマ/武蔵精密工業㈱/名工建設㈱/東亜合成㈱/㈱ダイフク/明治電機工業㈱

経営情報学部

名古屋鉄道㈱/フジパンググループ本社㈱/愛知電機㈱/防衛省 陸上自衛隊/㈱赤福/岡崎信用金庫/カネ美食品㈱/㈱名古屋東急ホテル/愛知県警察本部/岐阜県警察本部/小牧市消防本部/セキスイハイム中部㈱/瀬戸信用金庫/知多信用金庫/㈱ホテルグランコート名古屋/トランコム㈱/中北薬品㈱/名古屋市消防局/西尾レントオール㈱/日本コカ・コーラ㈱

国際関係学部

日本郵便㈱(日本郵政グループ)/日本生命保険相互会社/豊田鉄工㈱/ALSOK総合警備保障㈱/防衛省 海上自衛隊/愛知トヨタ自動車㈱/JA愛知厚生連/㈱JTB中部/㈱カーク/川北電気工業㈱/岐阜信用金庫/トランコム㈱/㈱ナゴヤキャスル/小牧市役所(消防職)/㈱三交クワイティ・ライフ/㈱スズキ自販中部/豊川信用金庫/名古屋ダイハツ㈱/㈱ワールドストアパートナーズ

就職 & 進学 の 必勝 ボイス

先輩たちの「これが私の歩んだ道」

OB's Voice
01

[就職先]
各務原市消防本部

同じ目標を志す仲間の励ましと、
あきらめない気持ちで掴んだ合格。

ばんの あきひろ
伴野 旭弘さん

経営情報学部 経営情報学科
2013年3月卒業

就職活動開始時期…… 3年次の10月頃
就職活動終了時期…… 4年次の11月頃
エントリー社数…… 10社
受験社数…… 6社
内定獲得社数…… 3社



大学が主催する就職ガイダンスに参加した3年次の10月から就職活動を始めました。憧れていた消防士を目指すことと決め、大学の公務員試験対策講座で紹介された模擬試験を受験したところ、散々な結果に。それが転機となり、硬式野球部の監督に事情を話し、部活に区切りをつけました。その後、勉強に集中するため、公務員講座を開講している予備校に通学して毎日ひたすら試験勉強をしました。消防士の内定が最後に決まったので、途中で別の内定先へ就職しようかと妥協

しそうになりましたが、同じ目標の友人と励まし合いながらモチベーションを維持。就職活動を通して、友人の大切さに気付かされました。また、両親と大学の就職活動に対する支援にも感謝しています。結果的に消防士に合格できたことは、最後まであきらめなかったからだと思います。面接では、部活動に全力で取り組んでいたので自信を持って自己PRができました。置かれた環境でどんなことにも一生懸命頑張れば、納得できる結果になるものです。

消防士になるために
すべきことは？

学内で開講している公務員試験対策講座がおすすめです。私の場合、さらに勉強する必要があったので予備校に通学しました。予備校の良かった点は、同じ目標のライバルたちが猛烈に勉強している姿を見られたこと。自分が置かれている状況を把握できたことで、自分自身を奮い立たせることができました。

OG's Voice
02

[就職先]
(株)ナゴヤキャッスル
宴会統括部 宴会サービス課クローク兼グリーター

自己分析だけでは掴み切れない、
活動していく内に見えてきた適性。

もり ようこ
森 葉子さん

国際関係学部 国際関係学科
2013年3月卒業

就職活動開始時期…… 3年次の12月頃
就職活動終了時期…… 4年次の7月頃
エントリー社数…… 約50社
受験社数…… 約20社
内定獲得社数…… 1社



就職活動を始めた当初は、医療系商社の営業を希望していました。しかし、面接官にはっきりと“営業は向いていない”と言われたおかげで、サービス業へ方向転換。中でも父が働いていたホテル業を目指すようになりました。いい面やマイナス面も見えていたと思っていたホテルでの仕事でしたが、小さい頃から父の働く姿を見て憧れや親しみがあったのだと思います。就活中、両親はどんな会社でも一緒にパンフレットを見ながら、企業や仕事について理解してくれました。それこそ

父は、「このホテルは、元気の良さをアピールした方がいい」と、ホテルマンならではの言葉をくれました。また、学内の面接練習での、こういう質問にはこんな風に答えた方がいいという有益なアドバイスも有難かったですね。活動当初は、自分に向いているかわからないかわからずにさまざまな企業を受けました。活動を続けていく内に、自分の適性を徐々に理解して、受ける会社を変えていけたことが内定獲得につながったと思います。

ホテル業を目指す上で
すべきことは？

名古屋市内にはたくさんのホテルがあります。しっかり自己分析をしてから、実際に見学したり、説明会に参加してください。仕事内容はもちろんですが、そこで働く“人”を見て自分に合っているかを検討することも大切です。サービスの現場へ足を運ぶことで感じるということが必ずあると思います。

社会人に向けてのステップアップとなる就職活動&大学院試験。
 将来を大きく左右する進路を決めるまでの道のりは、長くて険しいものです。
 最後まで自分の夢や目標をあきらめず進路を探し続けた4人の先輩たちに、
 内定&合格を勝ちとるまでの体験談を語っていただきました。

OB's Voice
03

[就職先]
伊勢久(株)
津営業所

研究室での不思議な縁と、
深く調べて得た情報を上手く活用。

さとう たかゆき
佐藤 駿行さん

生命健康科学部 生命医科学科
2013年3月卒業

就職活動開始時期…… 3年次の11月頃
就職活動終了時期…… 4年次の5月末
エントリー社数…… 約20社
受験社数…… 2社
内定獲得社数…… 2社



学生時代に所属していた研究室に足を運んでいた人。それがいま勤めている当社の営業マンでした。もともと研究職を希望していましたが、その人を見て営業という仕事、さらにその人が働く、老舗でありながらも成長を続ける会社に興味を持つようになりました。就職活動では、いくつもの企業を並行して受けると、その企業について調べた情報や思いが浅くなってしまふと思ひ、数を絞って深く調べることを心掛けました。どういふ点に興味を持ったのか、業界でのシェアはどれくらいかな

ど、引き出しをたくさん持っておけば面接で心構えができますし、さらに学科での学びと結び付けることができればそれは武器になります。先生には何度も面接練習をしていただきました。また家では、父に新入社員に求めることを聞き、母には社会人としての基本である“報連相”の大切さも教わりました。元気の良さや礼儀などは気を付けた分、実践できたと思ひます。ただ、当時の研究室に入らなければ、いまの自分はないと思ひえるほど、縁も大切だと実感しています。

学生時代にしておくと
よいことは？

幅広い年齢層が集まる場所や機会に参加することです。サークルでもアルバイトでも、あるいは好きなことでの集まりでも何でもよいと思ひます。上下関係などの礼儀が身につきますし、初めて会う人とも苦手意識なく話す練習にもなります。就職活動や社会人になってからも、その経験はきっと役立つはずで

OB's Voice
04

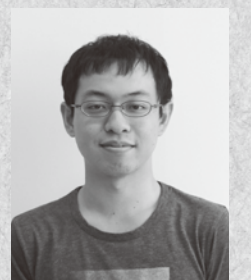
[進学先]
中部大学大学院
工学研究科 建設工学専攻

深い学びは、自信につながり、
進むべき道を照らしてくれる。

やまだ ゆうへい
山田 悠平さん

工学部 都市建設工学科
2013年3月卒業

研究テーマ
長良川河口堰上流地域の水質の再現計算
研究内容
長良川河口堰で実施されているフラッシュ
操作に着目し、実施時における水質変化を
数値解析する。



就職活動中、大学で身に付けたものについて考えたとき、自信を持って答えられるものはありませんでした。大学のテストも、その場しのぎで受けていた部分もあり、同じ学科の友人と比べて基礎的な計算式が瞬時に出てきません。希望する土木・建築関係の公務員やコンサルタントの調査・分析の仕事は、数式を使うことが多く、基本的なことができないと困る恐れがありました。そこで、基礎固めと知識を深めるためにも、大学院への進学を決めました。慣れ親しんだ環境であれば

集中して勉強できることから、中部大学大学院を選択。授業は応用的なものが多く、満足しています。進学について親へ相談したところ、「学費を自分で払うのであれば構わない」と言ってくれたので、現在は勉強の合間に、学内のアルバイトを掛け持ちしながら学費を稼いでいます。そのため、学部時代に比べ時間を有効活用できるようになりました。就職は自分がやりたいことよりも、その仕事に向いているかどうかで決めていきたいと思ひています。

大学院合格のための
秘訣は？

大学院の入学試験は、筆記試験と面接です。自身の専門分野の理解と英語は必須です。大学院6月試験では、成績優秀者の筆記試験が免除となります。面接は、堅苦しいものではなく対談に近い雰囲気。将来何をしたいのか、大学院でどういふ研究をしたいのかをしっかりと答えられることが大切です。

CLOSE
UP

クラブ&サークル

学科を越えた仲間と共通の目標に向かい、みんなで力を合わせて獲得した勝利や感動、充実感は、

学部の学びだけでは味わうことができない貴重な経験です。

ここでは、そんなクラブ・サークルの中から5つをクローズアップ。

それぞれの活動や魅力などを語っていただきました。



毎年1回、優秀な成績をおさめたり、努力したクラブや個人に対して、学長が表彰をおこなう「クラブ活動表彰授賞式」を実施しています。平成24年度は、奨励賞、努力賞、功労賞あわせて合計9団体と個人36人が表彰されました。



バドミントン部

自分と向き合い練習しただけ上手くなる。

頑張れるのは、バドミントンと仲間が
大好きだという揺るぎない気持ち。

〈主将〉
いしはら りょう
石原 亮さん(中央)
応用生物学部 食品栄養科学科3年

〈副主将〉
さいとう こうき
齋藤 滉輝さん(右)
応用生物学部 応用生物化学科3年

〈内務〉
いえがき こうすけ
家垣 昂佑さん(左)
応用生物学部 応用生物化学科3年



自分の弱さが分かるから、
強くなれる。

先輩となる3年生が、後輩たちの見本となるように行動することは難しいですが、先輩が率先して練習に臨む姿勢を示すことで部を引っ張っています。実際に、練習後も遅くまで残って自主練習に取り組む部員がほとんどです。練習がきつくても、部員が集まり残っているのは本当にバドミントンが好きだから。また好きだと言えるのはいい仲間がいる証拠です。バドミントンは、実際にプレイしてみると難しくハードで奥が深いスポーツ。弱みを狙われる競技でもあるので、試合を通して自分の弱点を思い知らされます。その分、自分と向き合い練習をしただけ上手くなっていくので、仲間たちと切磋琢磨しながら強くなっていきたいです。

勝利を意識した練習。

現在、東海学生リーグ男子・女子ともに3部に所属している私たちバドミントン部。今後の目標は2部への昇格です。手応えを感じているので、今年の冬には確実に昇格してみせます。週に4日ある練習のメニューについては、部員の意見を取り入れて作成。使用できるコート数や試合日程に合わせてメニューを組み換え、効率的に実践練習、基礎筋力トレーニングを行っています。部員全員が楽しみながらも真剣に



掛け声を出し、試合で勝つことを意識して練習に打ち込んでいます。

思い切った方針転換が生んだもの。

バドミントン部の方針として今まで練習は強制参加でしたが、参加率が高いわけではありませんでした。やる気がないのに無理に強制しても意味がありません。現在の自主性を重視した活動方針への転換は、歴代受け継がれてきた伝統を変えることでもあり、先輩たちと揉めることになりました。ただ、このままでは何も変わらないと考え、やる気のある人だけ練習に参加してもらう自主性を重視した方針に変更しました。その結果、授業などの予定がある中で、毎回練習にはほとんどの部員が参加。積極的に取り組み、コートが取り合いになるほどです。



弓道部

部員数 約45名



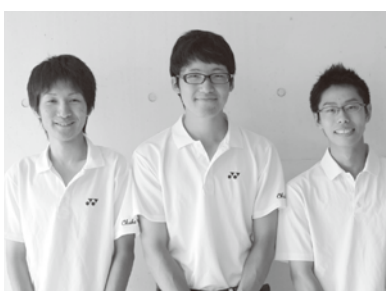
〈六武道〉
ののむら ゆうき
野々村 侑輝さん
経営情報学部 経営情報学科3年

日々の練習で心を鍛える。 目指すは、王座決定戦出場。

私たち弓道部の練習は、道場を掃除することから始まります。毎回1時間以上かけるためいつもきれいで、他大学からの評判も良く自慢の道場です。心も自然と正されます。弓道は、弓を引くことがすべて。ですから、年齢や経験年数に関係なく、誰もが上達する可能性があるスポーツだと言えます。そしてその魅力は、的に“中らない”ということ。どんなに上手い人でも100本引けば、4、5本ははずれてしまう。それはやはり、人間が完璧ではないということだと思のです。弓道の技術向上には、心がとても大切です。心が乱れていると不思議なほど中りません。試合では、相手と的中数を競いますが、最終的には自分との闘いです。迷いが勝敗を分けます。どんなに才能があっても引くことを怠っては上達しません。緊張しても勝手に体が動くように日々練習しています。昨年、2部リーグから1部リーグに昇格した我が弓道部。今年は、男女ともに伊勢神宮で行われる王座決定戦への出場を目指しています。

ゴルフ部

部員数 約25名



〈部長〉
ながさか けんじ
長坂 健治さん(中央)
国際関係学部 国際文化学科3年
〈主務〉
わたなべ なおき
渡辺 直紀さん(左)
経営情報学部 経営学科3年
いとう やすひと
伊藤 康人さん(右)
工学部 情報工学科2年

一流プレイヤーは、マナーも一流。 ゴルフを通して、自分を磨く。

以前に比べ女性部員も増えてきた私たちゴルフ部。個人種目のため、各自が強化すべきポイントに合わせてメニューを組んで練習しています。特に、各ホールを一巡するラウンドは、練習場で行う普段の練習と違い、得るものが非常に多い学びの場。先輩と一緒にコースを周れば、打ち方だけでなく、ミスした理由や物事に対する考え方を知ることができます。そのため、ラウンドには先輩を誘うなど、自主的に動いていかないと上手くなりません。ゴルフ部の一番の魅力は、敬語・礼儀・人間関係の大切さを学び、社会で必要なマナーが身につくこと。大会では、他大学の学生たちと初対面でコースを周るため、積極的に話す社交性も身に付きます。経験者が少ない分、先輩から後輩への指導・アドバイスが今後の部の強さを大きく左右するため、コミュニケーションを大切に活動しています。先輩・経験者が中心となって指導することにより、部全体のレベルの底上げを図っていきたいです。

ボーカル部

部員数 約30名



<部長>
はやま さとる
葉山 悟さん(中央)
工学部 機械工学科3年

さかいだ まさき
坂井田 昌樹さん(右)
工学部 機械工学科2年

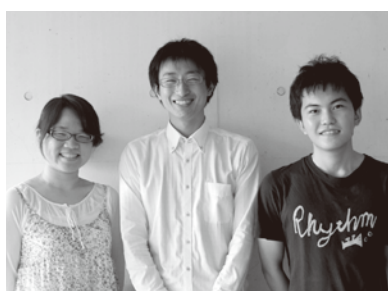
はやし しゅんべい
林 峻平さん(左)
応用生物学部 応用生物化学科2年

音楽を通して知る、価値観の多様さと、 かけがえのない仲間の存在。

私たちボーカル部は、仲間とバンドを組んで積極的にライブ活動をしています。他大学のバンドとも交流があり、合同でライブをすることもあります。演奏のうまさは練習量に必ず比例するため、各バンドがお互いに刺激し合いながら、演奏で絶対に負けないという気持ちで練習に励んでいます。音楽に対する価値観が人により異なるため、部としてまとめるのに苦労しますが、色々な人がいて、さまざまな考え方があるということを知る良い機会となっています。大好きな音楽の話ができる仲間と真剣に、楽しくバンド活動できることが部としての一番の魅力。先輩たちも気軽に教えてくれるので、演奏技術の向上だけでなく音楽知識も身に付き、未経験者でも安心して入部できます。学外ライブではバンド一組ごとに個別で演奏するのみですが、学内ライブでは部としてライブイベント自体に一つのテーマを持たせることができるため、完成度の高い大きな企画を考え、実現させることが今後の目標です。

マンドリンクラブ

部員数 約10名



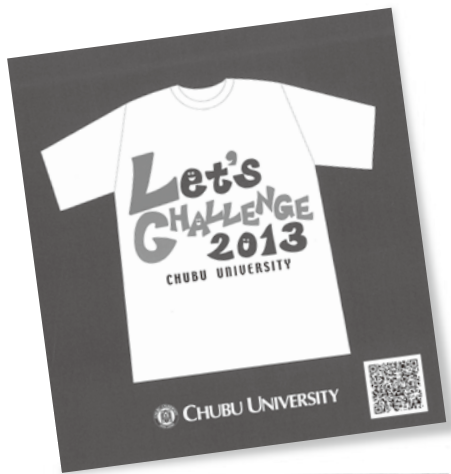
<部長>
しのざわ りゅうま
篠澤 龍馬さん(中央)
人文学部 コミュニケーション学科3年

はやかわ しゅん
早川 舜さん(右)
現代教育学部 児童教育学科3年

いのうえ はるか
井上 晴香さん(左)
生命健康科学部 保健看護学科1年

マンドリンの魅力的な音色を広く伝え、 多くの人に知ってもらいたい。

マンドリンという楽器は、バイオリンと共にイタリアを代表する楽器の一つ。日本では昭和歌謡との関わりが強い印象がありますが、私たちはマンドリンの源流である本場イタリアの曲を演奏するように心がけています。100年以上前に作曲された曲を演奏することによって、当時の人々が感じた音色の美しさを現代の人にも感じてもらいたい思いからです。最盛期は40~50人所属していた部員数も現在では約10人。マンドリンの合奏は20~30人が理想とされているなか、少ない部員数でも普段からのコミュニケーションと、技術指導の先生の下で週2回合奏練習を行っているため問題はあります。とはいえ、部員を増やしていきたいです。部員のほとんどが音色を聴いたことをきっかけに入部を決めるほど、マンドリンには魅力があります。大学が中部工業大学として創立されてから続いている歴史ある定期演奏会のほか、慰問や出張での演奏会といった活動を通して、多くの人にマンドリンを知ってもらいたいと思っています。



充実した学生生活を応援!

「Let's CHALLENGE」

中部大学では、学生みんなの「何かやってみたい」と思う気持ちを後押しするために、誰でも参加できるチャレンジプログラム「Let's CHALLENGE」を用意しています。新たなことに挑戦し、さまざまな人に出会うことで、視野も広がるはずです。ぜひ、参加をおすすめください。

楽しむ

- 中部大学祭 ※スタンプ対象外
- 中部大学音楽祭
- 成人を祝う会
- スキーキャンプ
- D.I.テーブル
- キャンパスコンサート
- ひとり暮らし入門

Pick Up

キャンパスコンサート

国内外で活躍する演奏家をお招きして行う、聴きごたえのある本格的なコンサート。今年の6月で73回目を数えました。会場は三浦幸平メモリアルホールで、保護者の方もご来場いただけます。

※入場無料ですが、整理券の申込が必要です。

磨く

- 公務員試験対策講座
- 資格取得対策講座
- 卒論・レポート作成講習会
- 文献検索データベース講習会
- 学習支援室
- 国際交流ピア・サポート
- カンパセーション・パートナー
- 太極拳講習会

Pick Up

文献検索データベース講習会

図書館には、新聞記事や雑誌記事を探すための文献検索データベースがあります。秋学期に開かれる講習会で、データベースの使い方や効率的な文献検索法を、実習形式で説明しています。

協力する

- ボランティア・NPOセンター (ACTA)
- C.U.P. (クリーンアッププロジェクト)
- 初年次ピアサポーター
- キャリアメッセンジャー

Pick Up

キャリアメッセンジャー

学生たちによる学生のための「就職支援サークル」です。就職について学んだり、先輩からのアドバイスを通して「働くこと」について考えたりと、意見や情報を交換しながら主体的に活動しています。

挑む

- 全学学科対抗スポーツ大会
- Night Walk
- 8時間自転車耐久レース
- バドミントン大会
- チャレンジ・サイト

Pick Up

バドミントン大会

今年で36回目を迎える伝統ある大会です。参加資格はバドミントン部員以外なら誰でもOK。32チーム64人のダブルストーナメント方式で「中部大学の凄腕」を競います。毎年11月に行っています。

発見する

- フレッシュマンキャンプ
- ウプト学生編集委員
- 自分探しグループ
- アルコール・パッチテスト
- 留学フェア
- 学生選書ツアー

Pick Up

学生選書ツアー

図書館では、実際に書店に行って読みたい本や興味のある本を選べる「学生選書ツアー」を企画しています。「図書館にこの本を置いてほしい」、そんな意見が反映される貴重な機会です。

年度を越えてもOKです!

スタンプを集めて図書カードGET!

めざせ! 5つ星★★★★★

1

「Let's CHALLENGE」にあるプログラムに参加する。

2

各プログラムのスタンプ窓口でスタンプを押してもらう。

3

スタンプを5個集めたら、学生課へ。

4

図書カード3,000円分と交換!

※スタンプカードは、学生課にあります。

「Let's CHALLENGE」に掲載された課外活動に5つ以上参加した学生の皆さんには、3,000円分の図書カードがもらえる「めざせ!5つ星」企画も行っています。

2012.7-2013.6

YEAR ALBUM

この一年間で開催された大学行事をピックアップしてご紹介します。

7/18

学生がイベントで省エネをPR 「打ち水」と「かき氷の無料配布」

省エネ対策の一環として、中部大学ボランティア・NPOセンターの学生が「打ち水」と「かき氷の無料配布」を企画。ジョウロと散水車による打ち水と、かき氷の無料配布を行い、登校中の学生に省エネへの協力を呼びかけました。



9/15

最新の研究をわかりやすく講演 第1回中部大学市民講座



大学が保有する「知」を広く地域の皆様と共有する場として、「中部大学市民講座」を実施することになり、その第1回目が三浦幸平メモリアルホールで開催されました。講師は本学総合工学研究所の武田邦彦教授で、タイトルは「日本の電気とエネルギー」。約500人の来場者で満席となった会場で、原発問題などを自身の調査・研究に基づいて語りました。

8/1

10人の教員が受賞 中部大学教育活動顕彰授賞式



よりよい教育を目指して設けられた「教育活動顕彰制度」のもと、2011年度教育活動優秀賞10人が決定し、授賞式が行われました。山下興亜学長をはじめ、約70人の教員が出席。山下学長からお祝いと激励のあいさつがあり、受賞者に記念の楯が贈られました。続いて、小澤後援会長から受賞者の先生方に教育活動振興支援金が贈呈されました。

10/3

防災について積極的に意見交換 平成24年度 中部大学防災講演会

中部大学防災対策協議会主催の「防災講演会」が開催され、学生・地域住民・教職員など約200人が参加しました。最初に兵庫県立大学環境人間学部・大学院環境人間学研究所の准教授・木村玲欧氏が「大災害時代を乗り切るチカラ〜災害心理・行動を知り心構えをつくる」をテーマに講演。その後、ボランティア・NPOセンターの学生による活動報告も行われました。



11/2~4

大盛り上がりの3日間
第49回
中部大学祭

今回のテーマは、東日本大震災を受け、助け合うことの大切さを思い込めた「和〜みんなつながっている〜」。大学祭の目玉企画「8時間自転車耐久レース」が今回で40回目を数えたほか、管弦楽団らによる「中部大学秋の音楽祭」、大学の卒業生を対象に行われる「ホームカミングデー」、ステージ企画など、さまざまな催しが開催され、たくさんの方の来場者で賑わいました。



11/10

4年生128人が決意表明
保健看護学科「立志会」



生命健康科学部保健看護学科4年生とその家族、臨地実習先の病院関係者、教職員、3年生の計476人が出席して開催された「立志会」。舞台上に立った4年生一人ひとりがキャンダルを手に、国家試験に向けて決意表明を行い、昨年同様、全員でゆずの『栄光の架橋』を合唱しました。

12/1

音楽でこころを一つに
第9回 中部大学音楽祭

第9回目の中部大学音楽祭は、三井住友海上しらかわホールで開催され、約5000人の聴衆が来場しました。最初に登場したのは混声合唱団。表現豊かに30分間、力強い歌声で見事に歌い切りました。続いて、マンドリンクラブ、ナチュラルサウンズ・ジャズ・オーケストラ、シンフォニックバンド、管弦楽団が次々と日頃の練習の成果を披露。中部大学非常勤講師の山本馨栄子氏と熊代治子氏によるピアノデュオ演奏も行われました。また、音楽祭の中で、ボランティア・NPOセンターの学生らが年末に宮城県の被災地を訪問する予定をお知らせしたところ、音楽祭終了後に心温まる募金が多く寄せられました。さらに今回は、当日公演前に行われたリハーサルと、普段お伝えすることのない舞台裏に潜る。緊張感あふれる表情やなごやかに談笑する様子など、さまざまな顔を見ることができました。



時間を確認しながらテキパキと進行。公演前の挨拶や注意事項をアナウンスする“影アナ”担当は、手書きの原稿に赤線を引いて、間の取り方をしっかり確認。



みんなで
いいステージを
つくりあげるぞ〜



1/11

華やかに新成人が集う 成人を祝う会

今年、大学で成人を迎えた学生は2337人で、成人を祝う会には約400人の学生が集まりました。はじめに山下興亜学長がお祝いの言葉を述べ、新成人を激励した後、代表学生が記念品を受け取り、燭台へ点灯。続いて、元プロ野球選手の今岡誠さんの講演が行われ、拍手と笑いで大いに盛り上がりました。



1/24

学生の素晴らしい業績を称える 平成24年度 学長表彰の会



勉強や研究、社会貢献などさまざまな分野で業績を上げた学生を表彰する「学長表彰の会」。24年度は、学会セミナーで論文賞を受賞した学生や、語学力に優れた学生など、28件46人の学生が表彰。学長から受賞者一人ひとりに表彰状と記念品が手渡されました。

3/23

約2100名の新しい門出 平成24年度 中部大学・中部大学大学院 学位記授与式

学部卒業生と大学院修了生の計約2100名の学位記授与式が行われました。山下興亜学長から各学部の代表者に学位記が手渡されました。山下学長の告辞の後、卒業生代表が謝辞を述べ、最後に全員で校歌を斉唱して式を終えました。また、春日井市の伊藤太市長も出席され卒業生へ祝辞を述べられました。



楽器や譜面台の場所、音の大きさや響き具合も入念にチェック。



撮影スタッフも準備に余念がありません。



リハーサル後は楽器の手入れもしっかりと。



5/18

特技を活かして 運営をサポート 介助犬フェスタ

愛知県長久手市の愛・地球博記念公園で開催された「介助犬フェスタ」で、本学の学生がボランティアとして運営に携わりました。来場者への案内配布や開会式での演奏、スナップ撮影、似顔絵コーナーなど、各サークルのメンバーがそれぞれの役割を果たし、会場を盛り上げました。



4/1

希望を胸に学生生活スタート 平成25年度入学式



学部入学生2746名、3年次編入学生6名、大学院生125名の計2877人を迎えて中部大学入学式が行われました。開式の辞、国歌斉唱の後、山下興亜学長が入学許可宣言を行い、告辞を述べました。各学部の新入生代表者が学部長の前でそれぞれ入学宣誓簿に署名、全員で校歌を斉唱しました。

6/1~2

徹夜で歩く名物イベント 第19回ナイトウォーク

中部大学春日井キャンパスから恵那市の研修センターまでの約42kmを一晩かけて歩くイベント「ナイトウォーク」が今年も行われました。午後8時に出発した一行は、途中10カ所ある休憩ポイントで提供される食べ物や飲み物でエネルギーを補給しながら、約12時間後に全員が完歩。ゴール後は、みんな揃って、学生課スタッフ手作りの豚汁などの朝食を食べました。



6/12

力を合わせて絆も深まる 全学学科対抗スポーツ大会

7学部29学科の学生と教職員合わせて約3000人が参加した全学学科対抗スポーツ大会。今年も男子リレー(4×100m)、女子リレー(4×50m)、長縄跳び、綱引き、玉入れの恒例の5種目で熱戦を繰り広げました。総合優勝を果たしたスポーツ保健医療学科は、初出場以来の3連覇を達成。また、長縄跳びでは139回(スポーツ保健医療学科)の新記録が出ました。





学科 & ゼミ紹介



7学部29学科、大学院6研究科15専攻の多様な専門分野で構成されている中部大学。

ここでは、7学部の各学科の概要と合わせて、1学部につき1つのゼミをピックアップ。

学生が、所属するゼミを写真とコメントで紹介します。

工学部

電子情報工学科

エレクトロニクス技術分野を
活用・開拓する実践的な能力を身につける。
エレクトロニクスの先端分野を切り拓くことのできる電子情報技術者を養成し
ます。「電子」「情報」「通信」の基礎から応用に至る実践力を養います。

都市建設工学科

環境、資源・エネルギー、
災害対策までを見据えた新しい社会基盤作りへ。
土木工学を基礎として、社会基盤の整備や持続発展可能な開発・保全について
学習。計画・設計・施工・管理の能力を身につけた都市建設技術者を育てます。

建築学科

人のために、社会のために。
建築のデザインと技術の可能性を追求する。
歴史や社会との関わりを重視した建築デザイン、安全な建築のための材料と
構造、建築内外の環境などを学習。経験主義を通して実践的能力を磨きます。

応用化学科

化学を環境に生かす視点で、
問題解決能力の高い化学技術者・研究者を育成。
環境問題・エネルギー問題・食料問題などを解くカギとして期待される応用化学。
人類の持続的発展と環境保全に貢献できる化学技術者・研究者を育てます。

情報工学科

情報化社会の最先端で活躍できる能力を身につけ、
情報工学のプロになる。
ソフト・ハード・通信・制御など、各種産業の核心となる技術を幅広く学習。実
践力・応用力・創造性を備えた最先端技術者を育成します。

機械工学科

高度な能力を持ち、
将来の可能性に適応できる機械技術者を育成。
幅広い産業を支える機械工学の基礎的な概念と専門知識を学び、各種機械
を設計・製作・評価・管理する機械技術者に必要な能力を身につけます。

電気システム工学科

電気エネルギーの可能性を究め、
電気関連技術をシステムとして学ぶ。
電気エネルギーをはじめ、エレクトロニクスやITにも対応できる電気技術者の育
成を目指し、「電力・設備」「電機・制御」「電気・情報」の各分野を学びます。

Pick Up ゼミ

都市建設工学科 磯部 友彦ゼミ



研究テーマ

あらゆる人のための
交通システムのあり方

町そのものが実験室です。地域住民の交通の確保、バリアフ
リー/ユニバーサルデザインによる交通施設、安全安心な移
動、効率的・快適な輸送システムなどを研究しています。

経営情報学部

経営情報学科

情報技術と経営学・会計学を融合した経営情報プロフェッショナル人材の育成。

情報技術・経営学・会計学を融合して学び、経営のわかる情報技術者、情報に強い会計分野の専門家、情報技術を活用して企業活動を担う人材を育成します。

経営学科

変化の激しい社会に求められるビジネスリーダー・経営専門家を育成。

激動する環境の中で組織を発展させ社会貢献にも努める経営者、自分の考えを持って活躍できる中堅ビジネスリーダー、会計や経営の高度専門家を育てます。

経営会計学科

会計に強い多彩なビジネスマンと経営のわかる会計の専門家を育成。

会計学を中心に経営学をバランスよく学び、会計に強いビジネス人材や経営のわかる会計専門職、経営と会計の両面から企業経営をサポートする人材を育てます。

Pick Up ゼミ

経営情報学科 山北 晴雄ゼミ

研究テーマ

財務諸表による企業の経営分析

成績の順位も研究内容も“数字に強い”メンバーが集まり、教室では研究内容の発表や質問も真剣にしています。ゼミが終わると明るいムードが漂い、先生が好きなお酒を飲み、楽しく過ごします。“ON”と“OFF”の使い分けが上手なゼミです。



国際関係学部

国際関係学科

世界情勢を読み解き、複眼的思考を持った国際人を育成。

国際的な「知の現場主義」をモットーに掲げ、英語を中心とした語学力、国際社会の分析力(政治・経済・国際開発)、グローバルな交渉力や行動力を身につけます。

国際文化学科

各地域を比較論的なアプローチで探究し、語学力と国際感覚を磨く。

英語プラス1の外国語(中国語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、韓国語、アラビア語、トルコ語、スワヒリ語など)を学習、多文化理解力を養います。

中国語中国関係学科

中国を総合的に探究し、語学力と知識を備えた中国のエキスパートを育成。

言語・文化・社会・政治・経済など多方面から、現代中国にアプローチ。全員参加で実施する中国短期留学などを通じ、日本と中国を結ぶ人材を育てます。

Pick Up ゼミ

国際文化学科 伊藤 裕子ゼミ

研究テーマ

イギリス文化を探る —文学、映画、ミュージカルの研究

20号館(国際関係学部棟)前の美しい自然を背景に撮った写真です。書物の世界にどっぷりと浸り、映像資料も活用しながら、フィクションの構成を分析し、背景にある、文化、社会、思想、人々の感情を探ります。女子学生に人気のゼミです。



人文学部

日本語 日本文化学科

言語と文化の専門領域を多彩に学べるカリキュラム、目指す進路も多岐に広がる。日本語学・日本文学・日本文化史を中心として、宗教学・民俗学も含めて幅広く学びます。外国人留学生との交流を通じ日本を再認識することもできます。

英語 英米文化学科

英米文化を深く理解し、世界に通じる英語コミュニケーション能力を最大限に高める。英米文化や言語学・言語教育学を学んで英語の運用能力を獲得。希望者全員参加の海外研修(米国)を通してたくましい人間を育てます。

コミュニケーション 学科

正しい情報発信ができるメディア社会のリーダーを育成する。多様化するメディアや人間の情報行動を学び、自ら情報を収集・編集・発信する能力を養います。マスコミ業界や企業の広報部門への就職を支援します。

心理学科

「こころ」を理解するための基礎から応用までを「体験」しながら身につける。心理学の幅広い領域を学んで、広い視野と「心を理解する技術」を身につけます。心理学実験やアンケート調査をはじめ体験型授業を数多く開講します。

歴史地理学科

時間と空間を考察し、未来を見出す力を総合的に身につけていく。あらゆる事象を「歴史的な経緯」と「地理的な視野」の両面から考察することで、現代社会を見つめ直す洞察力と未来を見通す力を養います。

Pick Up セミ

心理学科 高比良 美詠子 セミ



研究テーマ

対人認知や 対人コミュニケーションに 関する研究

社会心理学を中心に人間関係や日常生活の素朴な疑問など、自分が興味を持った題材を幅広く、研究対象としています。先生の手助けの元、自ら考えて研究に取り組んでいます。

応用生物学部

環境生物科学科

生物と環境への見識を深め、21世紀の環境創造に貢献できる人間の育成へ。

生物学と化学に加え、環境修復学・環境微生物学・生態学、バイオテクノロジーを学び、温暖化・食糧危機・環境破壊などの問題解決に貢献する人を育てます。

食品栄養科学科 管理栄養科学専攻

先端バイオを修得した管理栄養士を育成し、食と健康の分野に貢献。

バイオサイエンスとフードテクノロジーの視点を備えた管理栄養士を養成。保健・医療・福祉・教育分野に加え、食品ビジネス分野での活躍も目指します。

応用生物化学科

進展するバイオ産業の第一線で活躍できる技術者・研究者を育てる。

最新のバイオテクノロジーとそれを支える化学技術を学び、微生物・動物・植物を扱う技術を習得。薬や食品といった産業分野での活躍を目指します。

食品栄養科学科 食品栄養科学専攻

食のエキスパートを目指し、バイオサイエンスを基盤に、食と栄養の知識・技術を修得。

食と健康、栄養、それらに伴うさまざまな生命現象、食品分析法、食品の生産や流通を学び、安全でおいしく栄養的価値の高い食品を提供できる専門家を育てます。

Pick Up セミ

食品栄養科学科 高村 基治 セミ



研究テーマ

食品加工副産物の食品への 再利用に関する研究

研究生各自がそれぞれ関心のある加工食品への利用を目指して、副産物として廃棄化されている「おから」や醸造「米ぬか」の活用を検討しています。研究進捗の紹介や学外の研究成果の共有化を行い、先生からの確かなアドバイスとコメントを頂きます。

生命健康科学部

生命医科学科

生命医科学を総合的に学び、健康と医療の発展を支える専門家を育成。

医学の基礎とバイオなどの化学技術を基盤とする新たな学問領域を開拓。疾病予防や健康増進に役立つ薬物・機器・医療技術の開発者養成を目指します。

保健看護学科

生命の本質を理解し、人々に信頼される実践力を備えた看護師・保健師・養護教諭を目指す。

医学と生命科学の基礎を身につけた看護師・保健師を養成。医師をはじめとする医療専門職と連携した新しい看護の実践能力を身につけることができます。

理学療法学科

医療・福祉の発展や人々の健康増進に貢献する理学療法士を育成。

身体の障害に対し、筋力、関節の動き、体力などを改善させる身体運動リハビリテーションの医療専門職、理学療法士を養成します。

作業療法学科

幅広い知識と技術を修得し、身体と精神の両面をサポートする作業療法士に。

脳とこころの動きの回復に重点をおき、「モノ創りの作業」を手段として用いる生活リハビリテーションの医療専門職、作業療法士を養成します。

臨床工学科

高度化する医用工学機器の操作や管理、開発を担う臨床工学技士を育成。

高度で精密な医用工学機器を、医療の現場で医師に協力して操作・管理する医療専門職、臨床工学技士を養成。工学部との連携を重視した教育をおこないます。

スポーツ保健医療学科

生命科学・医学を学び、健康スポーツを指導できる保健医療の専門家を育成。

医学知識に基づいて、健康の維持増進に役立つ運動プログラムを開発し、安全な実践指導をおこなう健康スポーツのプロを育成。救急救命士の養成にも力を注ぎます。

Pick Up ゼミ

作業療法学科 長谷川 龍一ゼミ

研究テーマ

地域における効果的な介護予防に関する研究

身近な場所で安全に実施できる効果的な介護予防の方法をフィールド研究から検討しています。行政や医療機関、NPO法人与自然と共同して、公民館や病院などの地域社会の中で事業を展開しています。写真は提携先の東海記念病院で実施した介護予防教室での1枚です。



現代教育学部

幼児教育学科

子どもの願いを読み取り、共に願いを実現できる幼児教育の専門家を養成。

体験を重視した教育により、現場で発生する課題を解決できる人材を育成。保育士と幼稚園教諭の資格取得を目指すほか、特別支援保育の専門分野も学びます。

児童教育学科

時代のニーズに応えられる、確かな教育力を備えたアクティブな教師を養成。

現役の教育者や芸術家から指導を受ける科目を多数開講。また子どもの理科離れや外国人子女への教育などの課題に対応できる人材の育成にも力を注ぎます。

Pick Up ゼミ

幼児教育学科 采罌 真澄ゼミ

研究テーマ

造形表現とその幼児教育現場での実践指導に関する研究

さまざまな材料や技術に触れながら作品制作を行っています。そしてそこで得たものを基に、実際に子どもたちと関わり、「表現」と「表現を通した教育」について考えています。



国際的視点

日米ウォッチング! アメリカ大統領選挙

指導教員 国際関係学部 国際文化学科 河内 信幸教授

学生や若者の支持が高まってオバマの当選が実現した2008年の大統領選挙。そこで2012年のアメリカ大統領選挙を、学生や若者の目線でウォッチング。新聞記事や雑誌、インターネットなどを中心に情報を収集したり、名古屋アメリカンセンターなどから、大統領選挙のオリジナル情報を収集するなど、積極的に活動。また、オバマ勝利演説の分析や2期目のオバマ政権の課題などを考察し、ゼミや大学祭などを利用して、学生自身が収集した情報を発表しました。さらに本活動を、学生のチャレンジ・サイトとして、読売新聞で紹介していただきました。



地域貢献

若い力を結集して 高蔵寺ニュータウンを元気にしよう!

指導教員 人文学部 コミュニケーション学科 齋藤 宏保教授ほか

春日井市にある高蔵寺ニュータウンは、日本三大ニュータウンの一つですが、高齢化が急速に進み、元気がなくなっています。そこで中部大生の若い力を結集することで、高蔵寺ニュータウンを元気づけようと発足したのがこの活動です。具体的には2012年7月15・16日に行われた「高蔵寺きてみん祭」と10月7日に行われた第5回高蔵寺フォークジャンボリーを盛り上げるために参加。主催者のNPO法人まちのエキスパネットに協力して、演出や会場・舞台設営の手伝いを行ったほか、テントを出展して、中部大学のキャンパス情報を発信しました。



子育て支援

「中部大学子育てすくすく育て隊」 地域貢献活動

指導教員 現代教育学部 幼児教育学科 梶 美保准教授ほか

「中部大学子育てすくすく育て隊」は、学生の主体的な子育て支援ボランティア活動を通じた社会貢献を目的とした団体で、約100名の学生が登録しています。主な活動は市内の子育て支援センターにおける活動、地域子育てフェスタなどのイベント企画、保育所幼稚園、地域キャンプなどの外部からの依頼による活動で、2012年度は、43回、延べ400名弱の学生が参加しました。2月のみえこどもの城「バルーンカーニバル」は中日新聞に、3月のDO!スポーツかすがいにおける活動はケーブルテレビで紹介されました。



学生主体の研究を支援!

チャレンジ・サイト 活動報告

新しいことにチャレンジする意欲を持った

学生を支援し、育てる活動「チャレンジ・サイト」。

2012年度は、2006年度の開始以来、

最も多い全19プロジェクトが採択されました。

多岐にわたる分野のさまざまな経験から、

学生たちは多くのことを学んでいます。

障がい者スポーツ

障がい者スポーツのすすめ

指導教員 生命健康科学部 スポーツ保健医療学科 伊藤 守弘准教授

本プロジェクトでは、毎年、学生が中心となって企画・運営する障がい者スポーツイベント「心をつなごうスポ・レクチャレンジ」を開催しています。2012年度もこのイベント開催を最大の目標とし、イベントの目的の決定、大会の要項作り、参加者の募集、プログラムの企画、当日の運営などを学生が中心となって進めました。さらに2012年度は、学問的・科学的な実践を目指して、車イスバスケットボールや全盲バレーボールなどの障害者スポーツを実際に体験。何をどのように注意すべきか、いかにスポーツを障害者が楽しむかを感じることができました。



食品開発

オリジナル食品の開発と 学内販売に挑戦する

指導教員 応用生物学部 食品栄養科学科 根岸 晴夫教授

食品テストプラントを活用して、中部大学オリジナル食品の開発に取り組んでいる本プロジェクト。2012年度は、これまで開発した製品のバージョンアップを図るとともに、製品を学内に普及させて有効活用を図るために、学内で製造販売する仕組み作りにも挑戦しました。2011年度に開発した非常用食品キャンパンは、保存テストを行い、長期保存に最適な包装形態を決定。低アレルギークッキーは、基本配合を再検討し、一層の改良に努めました。さらに、コーヒー牛乳の製造の標準化と学内での販売方法を確立し、空きビンの回収率アップを図りました。



農業マネジメント

学生たちの 「中部農業新聞」プロジェクト

指導教員 経営情報学部 経営学科 川北 真紀子教授

農業は今、さまざまな問題を抱えていますが、そのピンチをチャンスに変えようとしている先進的な農業を行っている事例が多くあります。本プロジェクトでは、学生や若者に農業について興味や関心を持ってもらうこと、そして地域の農業・農産物を広め、地域に貢献することを目的に活動をスタート。2012年度は、中部地域で活動している先進的な農業マネジメントを行っている企業に取材に行き、実際に体験。お話を聞かせて頂いて記事を作成し、ニュースサイトに掲載しました。また、最後にパンフレットを制作し、その集大成としました。



精密加工技術

星と宇宙のロマンを探る 手作り天体望遠鏡の製作

指導教員 工学部 機械工学科 難波 義治教授ほか

中部大学に600mm反射望遠鏡を設置する構想が検討されています。この構想の柱は、中部大学の誇る「金属表面超精密加工」の最先端技術を使ってアルミ合金鏡を作り、星や星雲・星座の観測を行い、「中部大学生は土星の輪を見て卒業しよう!」を実現するところにあります。この構想実現への第一ステップとして活動しているのが本プロジェクトです。2012年は天体現象の当たり年ということもあり、各自が製作した屈折望遠鏡を用いて「金環日食」や「金星の太陽面通過」の観測と撮影、「木星と月の大接近」などの観測を行うことができました。



中部地方における若者の 中東・イスラーム理解向上プロジェクト

指導教員 国際関係学部 国際文化学科
中山 紀子教授ほか

中東・イスラーム圏の地域の文化や歴史、政治・経済などへの学生の興味喚起、理解向上を目的に活動。学生が勉強会やフィールドワーク、講演会などを企画し、参加した学生の中東・イスラームに関する理解を深めた。また対外的な研究会の企画、運営、広報などの幅広い業務を担当し、自ら伝える立場を経験した。

中部大生による 子育て応援プロジェクト

指導教員 生命健康科学部 保健看護学科
石井 真講師ほか

少子化に伴い、大学生と子どもが触れ合う機会が減っている。そこで本プロジェクトでは、学生が継続的な子どもの発達を学び、地域の子育て支援ニーズにも対応するべく、学生による乳幼児の託児ボランティアを行った。学生自身も楽しみながら子どもの発達を実感。企画力や安全面への配慮など、託児スキルも向上した。

ロボットチャレンジ

指導教員 工学部 機械工学科
佐伯 守彦准教授ほか

各種のロボットコンテストに参加し、優秀な成績を収められる先進的なロボットを開発中。国内のコンテスト参加に向け、2012年度はロボットを全面的に設計変更し開発を行った。しかし十分な検討ができず、本番で不具合が多発。結果は予選敗退になってしまったが、今回の反省点を踏まえてロボットの改良を進めている。

クリーン燃料を作り ジープを走らせよう

指導教員 工学部 機械工学科
行本 正雄教授

2012年度は、軽油やBDFの粘度測定を行い、各BDFの個体差を調べることができた。また、混合燃料は、BDFの種類を増やすとともに実使用に向けて低混合率での燃焼実験を行った。さらに、排ガス測定に検知管を用いたことで、安定したデータの測定が行えたことなど、前年度の検討から大幅に進展した。

スポーツ活動支援プロジェクト

指導教員 生命健康科学部 スポーツ保健医療学科
西垣 景太助教

大学全体における健康維持やスポーツ活動を活発化させるために、学生主体によるスポーツ活動のサポートを展開。体育系クラブへの勉強会の実施や、トレーニングやコンディショニングなどの指導・補助、さらに、学外のセミナーアシスタントやトレーニング指導者研修などにも参加し、知識を増やしながら指導力を磨いた。

学生主体の環境マネジメント分野の 標準化教育

指導教員 経営情報学部 経営学科
伊藤 佳世准教授

本プロジェクトでは、中部大学ESDエコマネーチームを結成し、学生主体のESD(持続可能な開発のための教育)を実践。2012年度は小学3年生以上を対象に、楽しく環境マネジメントを学ぶことのできる標準化教材を開発。子どもから大人まで楽しく学べる教材を目指し、チーム一丸となってプロジェクトを進行した。

ワールド・コロボ・フェスタ2012で、 中部大学から世界へ発信!

指導教員 国際関係学部 国際関係学科
青木 澄夫教授ほか

中部地域最大の国際交流イベント「ワールド・コロボ・フェスタ」。国際交流・国際協力・多文化共生などについて学び、行動する場に携わることを目的に参加した。現在の国際社会の問題点や日頃の研究内容を市民の方々に知ってもらうため、ゼミの研究をパネルで展示。またバザーの収益金をカンボジアで活動中のNGOに寄贈した。

米粉ドーナツ作成・販売を通じた 地域社会貢献と企業化へのリサーチ

指導教員 全学共通教育部
松井 恒雄教授ほか

コンセプトは「地域社会貢献」と「自分の限界へのチャレンジ」。学生が「主体性」や「コミュニケーション能力」を身につけるために集い、商品の原料であるお米・もち米を生産し、イベントでオリジナル米粉商品を販売した。また企業化へのリサーチとして、企業についての調査や生産工程の機械化等の試みも行った。

産学官民協働による 中部大学周辺域の生物保全活動

指導教員 応用生物学部 環境生物科学科
南 基泰教授ほか

保全対象は、植物、昆虫、動物を含む生物全般。2012年度は、出光興産(株)愛知精油所内のグリーンベルトに生息する小型哺乳類の生息調査を実施した。カメラトラップ法を用いてウサギ、タヌキの撮影に成功。この2種についてのグリーンベルト内での生息適性評価を実施し、出光興産に対して企業緑地整備法について提言した。

企業との連携を考慮した 学生主体のオープンソース研究会

指導教員 経営情報学部 経営情報学科
前田 和昭教授

大学生が大学で勉強しているだけでは、躍進するITを裏で支えている企業の実態に接することはほとんどない。そこで本研究活動では、オープンソースをキーワードに、大学内の活動として学生が最新のプログラミングの技術を身につけ、学外の活動として、習得した最新技術を企業に提供することを積極的に行った。

中部大生が中部地方の 観光問題に迫る—現地での実態調査—

指導教員 人文学部 歴史地理学科
山元 貴継准教授

本プロジェクトでは、中部地方各地の観光問題について学生が主体となって検討し、その実態を明らかにする。2012年度は、日帰り観光客が増加する一方で宿泊観光客の減少が続き、また、既存の温泉街に対して周囲にリゾートホテル群が建ち並ぶといった問題を抱えている岐阜県下呂市の下呂温泉をめぐる観光客の動向を調査した。

全国映像コンクールでの グランプリ獲得作戦

指導教員 メディア教育センター
村上 和彦教授ほか

全映協グランプリや飛騨高山映画祭などの全国規模の映像コンクールにビデオ作品を出品し、グランプリ受賞を目指して活動中。2012年度は、入賞を果たせなかったが、社会の動きに関心を持つことや自分の役割を考えること、そして誰にどのようにメッセージを発するのか視点をはっきりさせることの重要性を学んだ。

中部大学ボランティア・NPOセンター活動報告

本センターの主役は学生自身。学生たちは、外交問題、少子高齢化、国際化、情報化など、身の回りの環境が日々変化し続ける昨今、多くの課題や難問が待ち受けている社会へ自信を持って歩いていけるよう、各プロジェクトリーダーを中心に、さまざまなイベントの企画立案から運営・評価・改善まで、総合的にこなっています。今年もその活動内容をダイジェストでご紹介します。



心身障がい者コロニーと福祉への理解を深めるために、「コロニー祭」へ参加。

社会福祉プロジェクトでは、社会における「差別・偏見」をなくしていくことを目的に、交流活動・支援活動・啓発活動を継続的に行っています。近隣のデイサービスや福祉施設を定期的に訪問し、幅広い年齢層のさまざまな方と接することで、その人に合った接し方を経験的に学び、福祉に対する理解を深めていきます。社会における「心のバリアフリー」を取り去る人もない人も同じように生活できる「ノーマライゼーション」社会の実現を目指しています。

社会福祉プロジェクト

共感的な
「心のバリアフリー」を
目指して



子ども自然体験キャンプでは、異年齢間の子とも同士が遊びを通して社会性を磨いた。

現在子どもたちは、異年齢間の交流の場の減少、遊び場の減少、ひとり遊び、基礎体力の低下といったさまざまな問題を抱えています。そのため、人間関係を円滑にするなどのソーシャルスキル習得の手助けとなる場作りを目的として活動をしています。異年齢交流や自然と触れ合える場づくりとなる、子どもキャンプ、地域交流の場づくりとなる児童センターまつりや春日井まつり、大学祭で行っている学びの森という地元市民向けの体験学習を実施しました。また、地域の子とも会などと連携した活動も行っています。

社会教育プロジェクト

「体験すること」を
きっかけに、
ソーシャルスキルの
習得を目指す



フィリピンで火山噴火の被害にあった地域のために、募金活動と広報活動を実施。

知る、気付き考える、伝える、行動するという4つを基盤に活動を展開しています。主な活動では地域の小中学校などと連携をとりながらワクチン支援のためにペットボトルキャップを回収しています。回収拠点を本学として毎年ワークショップを行い、世界の現状やグローバル化などについて子どもたちへの国際理解活動も実施。これらを伝えるボランティアスタッフとして今、世界や日本で起きている問題の現状把握、知識の共有のため勉強会に力を入れています。これらの活動をより良くするため毎週ミーティングを重ねています。

国際理解プロジェクト

国際交流の発展と、
地域と連携した
国際理解教育の
推進に向けて



ボランティア活動の 促進

と

ボランティアスタッフ 養成

中部大学ボランティア・NPOセンターは、建学の精神である「不言実行、あてになる人間」を、学生自身が実践し、自立的、自発的に行動できる人材の育成を目指して、「ボランティア活動の促進」と「ボランティアスタッフ養成」を展開しています。24年度は、「専門力」、「積極性」、「コミュニケーション力」、「事後分析力」の4つの項目に沿って活動し、ボランティアスタッフの意識向上を図りました。



食と農のつながりや、日頃の食事の有難さについてあらためて考えた「親子田んぼ体験」。

環境対策プロジェクトは食農体験・自然保護・環境学習の3つの活動に分けられています。食農体験では、毎年近隣の小学生を対象とした「親子田んぼ体験」を実施しています。自然保護では、本学の教員や他団体の活動に参加し、海山川のフィールドを問わず活動しています。環境学習では、大学と連携して省エネ推進活動を定期的に行い、環境問題への意識を高めています。それぞれの活動を活発化させるために、スタッフ同士の打合せや、外部との連携強化を図り、今後も向上心を持って活動に取り組んでいきます。

環境対策プロジェクト

1人1人の 環境対策への意識改革



上級救命講習会にて、実践的な災害救助実務や応急手当、AEDの使用法を学んだ。

災害対策プロジェクトでは、東日本大震災の被災地支援活動として、募金活動はもとより、これまでに4回現地を訪問。傾聴ボランティア、子ども向けイベントなどを行いました。また、地域の防災訓練への参加、他団体・他大学との交流などを通じ、ボランティアネットワークの構築を目指しています。さらに、兵庫県で防災意識を高める研修にも参加。普通・上級救命の資格取得のため消防署の方から学ぶ救命講習など、東海大地震が起こった際にスムーズに動くために「私たちに今できることは何か」を考えた活動を行っています。

災害対策プロジェクト

大規模災害 「東海大地震」に備えた 実践的な プログラムの実施



自然を守る、意識改革を促すなどを目的に、大学周辺地域の清掃活動を実施した。

本プロジェクトは、学生が春日井市民として地域貢献や地域活性化に着目し、行政やさまざまな地域団体と連携し「市民が積極的に参加できる社会」を目指したまちづくりを理念として活動しています。春日井市の「春日井まつり企画運営委員会」、福島県の小学生を対象に、放射能の被害から一時疎開させることを目的とした「福島つ子キャンプ」、地域への恩返しや、学生が学生を変える「を目的とした」地域清掃活動「交通マナー指導」などを行っています。今後はこの連携をより強固にし、さらなる地域貢献に努めていきます。

まちづくりプロジェクト

地域貢献の出来る 『実践者』の育成と、 行政と協働による 市民参加活動の推進

世界とつながる、 世界が広がる。

国際交流
バックアップ

世界中の大学と積極的に交流している中部大学。

世界14カ国22大学・機関と協定・提携を結び、学生の海外体験をバックアップしています。

1年次から参加できる「海外研修プログラム」や、学部の授業を現地の学生と一緒に受講する「派遣留学プログラム」などを多数用意。

ほかにもさまざまなサポート体制で、学内の国際交流も支えています。



留学・研修プログラム ※長期の留学・研修でも4年間での卒業が可能です。

海外研修プログラム	国名	期間	実施時期
オハイオ大学 長期研修 (初級・中級)	アメリカ	1学期間	3~6月
ハワイ大学 英語短期研修 (初級・中級)	アメリカ	3週間	8月 (休暇中)
オックスフォード 英語短期研修 (初級・中級)	イギリス	3週間	8~9月 (休暇中)
ニューイングランド大学 英語短期研修 (初級・中級)	オーストラリア	4週間	2~3月 (休暇中)
西洋美術研修	フランス	2週間	8月 (休暇中)
外交学院 中国語短期研修 (初級・中級)	中国	4週間	2~3月 (休暇中)
華東師範大学 中国語・インターンシップ短期研修 (初級・中級・上級)	中国	3週間	2~3月 (休暇中)
グアナファト大学 スペイン語短期研修 (初級・中級)	メキシコ	4週間	2~3月 (休暇中)

派遣留学プログラム	国名	期間	実施時期
オハイオ大学 派遣留学 (上級)	アメリカ	1学期間	8月出発
ウェストバージニア大学 派遣留学 (上級)	アメリカ	1学期間	8月出発
ニューイングランド大学 派遣留学 (上級)	オーストラリア	1年間	2月出発
ハルビン理工大学 中国語・中国文化派遣留学 (中級・上級)	中国	1学期間	2月出発・ 8月出発
華東師範大学 派遣留学 (中級・上級)	中国	1学期間~ 1年間	2月出発・ 9月出発
圓光大学校 韓国語・韓国文化派遣留学 (中級・上級)	韓国	1学期間	2月出発・ 8月出発

まずは「国際交流センター」へ。

留学・研修に関する相談や申し込みはもちろん、留学先の情報を調べたい、海外留学生と交流を図りたいと思ったら、まずは国際交流センターを訪ねてください。さまざまなイベントを用意して、世界を学びたいという学生の意欲に応じています。

留学フェア



春・秋学期の始めにおこなわれる中部大学の留学プログラム説明会です。留学先別にコーナーが分かれていますので、一度にいろんなプログラムの説明を聞くことができます。また、交換留学生から直接、現地の様子を聞くことができる貴重な機会です。

D.I.テーブル Discovering Internationalism Table



毎週木曜日のランチタイムに国際交流プラザで開催中のイベント。留学生と中部大生が同じテーブルを囲んで食事をするので、さまざまな“出会い”や交流が生まれることを期待しています。国、性別、学科、年齢を超えた友だちの輪がきっと広がります。

C.U.P.S. Chubu University Peer Support



中部大生が留学生のピア(友だち)となり、さまざまなサポートを通じて国際交流することを目的とした、自主的な国際ボランティアグループです。留学生の歓送迎会、キャンパスツアー、名古屋市市内見学など、多くのイベントを国際交流センターと企画・実施しています。

留学のための奨学金制度

2012年度は、中部大学や外部機関の奨学金制度を利用して、約100名の学生が留学しました。

オハイオ大学 長期研修奨学金制度*

オハイオ大学での授業料を中部大学が全額負担することに加え、中部大学から10万円の奨学金が支給されます。2年次だけに利用できる制度です。

※(独)日本学生支援機構(JASSO)留学生交流支援制度(短期派遣)奨学金受給者には支給されません。

オハイオ大学大学院 奨学金留学制度

4年生と学部卒業後5年以内の卒業生が、オハイオ大学の大学院授業料免除(十語学学校受講料免除)と生活費の支給を受けられる大学院奨学金制度に応募できる制度です。

(独)日本学生支援機構(JASSO) 留学生交流支援制度(短期派遣)

JASSOから毎年通知される成績評価基準(GPA)等を満たした学生に、派遣地域により月額6万円から8万円(返済不要)の奨学金が支給される制度です。

充実の語学支援

使える英語を身につける

PASEO

オハイオ大学の協力を得て構成されているOPELTが実施している英語強化プログラムです。語学留学、学部や大学院正規留学、英語を必要とする職業への就職をめざしている1年生から大学院生までが、レベル分けされたクラスで使える英語を磨きます。

※Preparation for Academic Studies in English Overseas



語学自習に最適の空間

SI Room

SI(Self-Instruction) Roomは、語学を身につけるには、「自らが一歩踏み出し、自らが学ぶ意識が不可欠」と1988年に設立された語学専用自習室。自習に適した語学教材を厳選し、英語教員による学習相談や自主学習の支援のための講座も提供しています。



語学のことならココへ

語学センター

語学センターは教育・学習・技術を結びつけてハード面、ソフト面から語学環境を支えています。語学教室の整備だけでなく、SI Roomの運営、PASEOの開講、集中講座や特別講座の実施、TOEFL模試、英語コミュニケーション能力判定テスト「CASEC」の実施も担っています。



日本語学習をサポート!

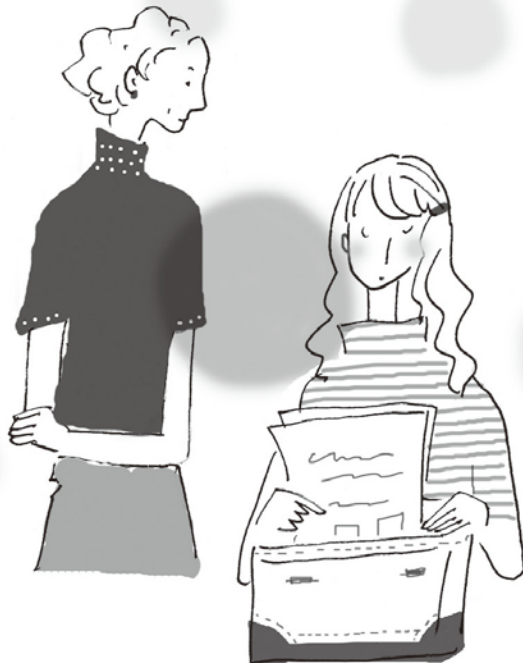
カンパセーションパートナー

カンパセーションパートナーとは、協定大学からの外国人留学生の日本語学習を、中部大生が支援する制度です。留学生と日本語で会話することがおこな役割ですが、親しくなることで、日本人学生の外国語学習にも効果が期待できます。



中部大学 語学センター 検索

知っておきたい 子どものこと。 伝えておきたい 親の思い。



単位や成績、留学、友人関係、就職など、親御さんとしても気になるお子様の学生生活。

“うちの子は、大学での出来事をあまり話さないから…”、“ちゃんと就職活動ができていいのか心配で…”。

『父母との集い』に参加される理由や、抱えている不安や悩みはそれぞれです。

ここでは、保護者の方のお子様への思いや大学に対する感想・要望などを紹介します。

このインタビューは、『父母との集い』(大学会場2012年度および2013.5.11開催)に出席された方からのお話をまとめたものです。ご協力ありがとうございました。
※お名前の上の表記は、取材時のご子息・ご息女の学部学科学年です。

1 人の意見を聞き、 自分の考えを 発信できるように。

人文学部 歴史地理学科
1年生のご両親

外山様

学生の就職活動が早い時期からスタートしていることは、ニュース等で知っていましたが、今日の話を聞いてあらためてその事実を実感。大学生活は4年間というものの、実質的に勉強できるのは2年くらいなのかと感じました。今日は学内の様子を知りたくて参加しましたが、大学の考えや概要を聞けましたし、成績や出席状況などの情報も送っていただけるということも知りました。また、就職サポートやスケジュールもWebで見られるとのこと、親から就職活動を促すことも可能ですし、いい情報をいただけたと思っています。学年が上がるにつれて専門的な学びになると思いますが、息子には、自分の意見をしっかりと伝えられるようになってほしいですね。他人と行動したときとコミュニケーションをとって自分の考えを発信できるようになってほしいと思っています。

2 厳しく叱ってくれる 先生に感謝。

生命健康科学部 理学療法学科
2年生のお母様

倉内様

大学会場で参加するのは今回が初めてです。抹茶席で相席した親御さんと、子どもの就職について話ができました。また、ランチで並んでいるときに、これから就職の相談に行ってくるという同僚部スポーツ保健医療学科の親御さんとも話すことができました。このように近い境遇の皆さんと情報交換ができるのが、『父母との集い』のいいところだと思います。また以前に、後援会役員の懇親会に参加したときのこと、先生に声を掛けられて、息子の成績状況についてこのままではダメだとお叱りを受けたことがありました。息子はアルバイトに一生懸命で、実は私たち親も知らなかったんです。大学の規模が大きいことから、先生と学生との関係が希薄だと思っていましたし、成績の悪い者がいても放ったらかしというイメージを持っていました。しかし、このことがあってからそのイメージは変わりましたね。息子もそれ

からは、勉強するようになりました。すっかり叱っていただけるのはありがたいことですし、先生には感謝しています。入学前に感じていた、少人数の大学の方が面倒見も良いのではという不安も払拭されました。

3 夢は大切だけれど、 そんなに楽観的で 大丈夫？

現代教育学部 児童教育学科
1年生の二両親

川上様

息子の目標は、中学校の先生になることです。高校時代に、初めて自分の努力を認めてくれる先生に出会い、その頃から教師になる夢を語るようになりました。子どもたちに学ばせたいと、さばで見たいと言っています。ただ、そばで見ていると、理想ばかりが高いのではないかと感じることも。本当に夢を叶えたいなら、人並み以上の努力が必要ですよ。その点があまりわかっていない様子が気になります。前向きで楽観的なのは良いけれど、現実的に考えれば、教師になることはかなり難関であるはず。スムーズに就職に就ければ、前へ向かって進むだけなので大丈夫だと思おうのですが、

もしも挫折したら、早々に諦めて楽な方向へと身をまかせてしまえばいいので心配です。本人は、橋本先生と高木先生の講義がとても楽しいと、毎日張り切って大学へ通っています。勉強については専門家である先生にお任せして、親は何をサポートしたらよいかについて、今日は個別相談で尋ねてみます。

4 悩みを相談したり、 愚痴を言えるような 信頼できる友人を。

応用生物学部 応用生物化学科
4年生のお母様

山家様

私が就職した頃は、どの会社にしようかと選べる状況でしたが、今は、時代も社会状況も変わりました。就職活動の状況はわかっていますから、息子へあまりしつこく口を出すと怒られますし、本気で就職について考えていることも本人を見ていれば伝わってきます。根性はあると思うので、なんとか就職活動を乗り切ってくれると信じています。心が折れそうなきもあると思います。小学生の頃からの友人と会って、ストレスを発散したり、癒されたりして帰ってくるので、友人関係は上手くいっ

ているようです。入学後に新しい友人を作って、信頼関係を築いたり、大学以外でも悩みを相談したり、愚痴を言える友人がいれば、この先、何があっても頑張れると思いますね。親としても子どもの性格を踏まえて、落ち込んでいても前向きに就職活動に取り組めるようタイミングを見て声を掛けています。

5 口出しを ぐつと我慢して 本人の自主性を尊重。

応用生物学部 環境生物科学科
2年生の二両親

堀池様

初めての一人暮らしを楽しんでいる様子の息子。意外に料理が好きで、つくったものの写真をメールで送ってくることもあります。私たちの学生時代より上手にやっているようで、生活の面では心配していません。やはり、気になるのは就職のことですね。今日の『父母との集い』の就職に関するお話で、企業は学生にコミュニケーション力を求めていると聞いて納得しました。学生時代は自分本位で生活できたとしても、社会でそうはいきません。せつかく遠くの大学に入ったのだから、周りの環境に馴

染む努力をして、親元では学べないことを二つでも二つでも学んでほしいです。また、「家庭でのサポート」言っていること、わるいこと」を聞いて、言っているいけないことばかり連発してしまいうだとヒヤッとしました(笑)。親としては口出ししたいけれど、あえて言わないようにして、本人の自主性を尊重していきたいです。

中部大学に対しては、『信頼』の送付も含めて、こまめにお知らせをくださるので感謝しています。でも、やはり愛知県内の情報を中心ですね。地元での就職を目指す学生とその親のために、地方に関することも掲載していただくとありがたいです。大学と関係の深い幸友会会員企業の採用情報が掲載されたサイトがあるとのお話がありましたので、早速のぞいてみます。

6 就職は運も必要ですが、 積極的に動かないと いきませんね。

経営情報学部 経営学科
4年生のお母様

神谷様

『父母との集い』に何回か出席していますが、今回は就職活動支援がテー



マです。現在、息子は就職活動中で、まだ内定を貰っていません。息子は就職できるのかしらと心配です。どんな企業でもチャレンジしなさいと言っていますが、心が折れ始めている状況です。我が家では、食卓を囲む際に就職活動について会話をします。ただ、詳しい内容までは踏み込まないようにしています。息子はうとましく思っているかもしれませんが、どうしても口が出てしまいます。リクルートスーツで出掛けに行くなど、就職活動をしていると、親としては安心感があるものです。最近、内定が貰えそうな会社があったようですが、選考から外されてしまったみたいです。みんなつらい時期を乗り

越えて社会人になっているので、頑張っ
てほしいですね。上の兄弟二人も愛知
県内の私大に行かせましたが、中部大
学ほど就職活動支援に熱心で、学生
が頑張れば頑張った分だけ面倒を見
てくれる大学はないと感じています。

7 やる気を持つて
やりたい仕事や目標を
見つけてほしい。

経営情報学部 経営情報学科
3年生のお母様

K様

大学に関するいろいろな情報をこの
機会です得ようと思いい、毎年欠かさず
来ています。上の子も他大学へ行つて
いましたが、このような機会はありませ
んでしたので、1年生のときに初めて
『父母との集い』に参加してあまりに盛
大で驚きました。先生と話せる機会も
減多にありませんし、息子の生活態度
や友人関係も教えてもらうことができ
て安心しました。厳しいことも言つてく
ださいますし、ありがたいですね。就職
活動については、上の子のときは知らぬ
が仏で気楽だった分、今回はスケジュ
ールを知ることができよかったです、
逆に知ってしまったばっかりに心配で。

息子は、何事にも積極的に参加できる
性格ではありませんが、一つのことをコツ
コツと真面目にできるタイプですので、
そういう性格が活かせる道を探したら
どうかと話したりします。親が口を出
している時点でダメですが、自分でやる
気を持つてやりたい仕事や目標を見つ
けないといけませんね。

8 就職について
親も勉強できる
良い機会です。

工学部 建築学科
4年生の二両親

窪田様

子どもの就職に親が関わることに、一
部の報道では過保護という言い方がさ
れていましたが、今までに経験したこと
のない就職難でしたので、このような
『父母との集い』は親としては勉強にな
ります。また、地方でも開催していただ
くなどの配慮もあり、とても良いと思
います。今日は個別面談もさせていた
だし、離れて暮らしている息子の状況
も知ることができました。息子とは面
と向かつて会話する機会がなかなかあ
りませんが、全体会などで聞いた内容
で、就職についていろいろ聞きやすくな

9 全体会の
開催時期は良かったが、
今後の内容に期待。

工学部 都市建設工学科
3年生の二両親

I様

りましたね。気持ちが落ち込むような
マイナスな内容を言つてはいけないとい
うことですので、その辺りのバランスに
気をつけながらアドバイスをできればと
思います。

就職活動や進学などについては、親
としてもわからないことが多いので、こ
のような機会はとても参考になりました。
5月に開催するタイミングも良いと
思います。個別相談では、大学院の進
学について相談させていただきました
が、就職活動と大学院進学への両方の
道を見極めながら進めていけるこの時
期に、先生からの「就職活動も社会勉
強になる」というアドバイスは参考にな
りましたね。ただ、全体会については昨
年とほぼ同様で、想定していた通りの
内容だったのが残念です。希望として
は、一般的な大学の話ではなく、中部大
学に関するもっと具体的な数字を交え
ながら、こういう部分に注意が必要と

いうところまで、話していただければ良かったと思います。

10 オハイオ大学へ安心して送り出せます。

国際関係学部 国際文化学科
1年生のご両親

太田様

今日は、個別相談で大学での息子の様子を先生からお聞きしました。成績はまずまずのようで、ホッとしています。やる気を引き出してもらえる大学を選んで良かったです。息子は今年度と来年度、オハイオ大学の長期研修プログラムに参加する予定です。先生によると、現地では、まずテストで語学力別のクラスに分かれ、段階的にネイティブのクラスへ参加していくとのこと。留学生に対して、きちんと対応している大学のようなので、安心して送り出せます。寮に入って他の国の学生たちと一緒に生活すれば、自立心も育まれるのではないのでしょうか。しっかり自己管理をして、大きくなって帰ってきてほしいです。最近、息子は「将来は日本にいないよ」と、海外で就職する希望を口にするようになりました。中部大学には、そ

のために有利な資格や検定へのサポートもあるとのことなので、自分にプラスになるものを選んでトライしてほしいですね。今日はこれから、学内の民族資料博物館を見学して帰る予定です。自慢の施設だと先生に熱く薦められました(笑)。珍しいものがたくさん見られるらしいので、楽しみです。

11 厳しい就職活動、自主性を持って行動してほしい。

人文学部 英語英米文化学科
2年生のご両親

松田様

年に一度は大学で話を聞こうと思い、昨年に続いて今年も参加しました。娘はまだ2年生ですが、就職はますます大変だと思って聞いていました。希望の道はあるようですが、親から言わせれば厳しいぞと言わざるを得ないですね。3年生になれば就職についても現実味を帯びて来ますから、それまでには意識を高めてほしいし、先生に相談するなどして、自分のレベルを把握し勉強してほしいと思います。学内で就職ガイダンスもあるようですが、友だちとの集団行動の一つとして参加しているよう

12 就職活動を支援する大学の姿勢に、親としては安心です。

経営情報学部 経営情報学科
4年生のお父様

成岡様

これまでは息子が通う大学に対する興味本位から「父母との集い」に参加してきましたが、今回は違います。就職に対して現実味がなくのんびり構えている息子の様子を見てると不安で、今年の就職事情を把握するため参加しました。

出身県外の友だちを多くつくってほしいこと、一人暮らしを経験してもらいたいことから、地元ではない県外の中部

大学を受験させましたが、就職までしっかりサポートしてくれる大学のように入学して大正解でした。キャリアアセター長のお話からも、大学側が一生懸命就職活動を支援してくれていると実感。ただ、息子がそれを活かしていないことにイライラしてしまいました(苦笑)。就職活動は本人だけでなく、親も不安です。特に子どもが男の子だと、密に話をするのがなく、現状がどうなっているのか把握できません。それを大学側から説明してもらえる機会があり安心です。大学がここまでやってくれているので、最終的に本人がどういう意識で就職活動に取り組むかが重要です。

13 人間的に成長できる仕事を見つけてほしい。

工学部 建築学科
4年生のお母様

芳山様

息子は人とコミュニケーションをとるのが得意な方ではありません。おとなしい性格で、人を引っ張っていくタイプでもありません。私のイメージでは、人の上に立つ人はリーダーシップがあっ

て、どんだんと関わっていくタイプでなければ務まらないと思っていました。でも、今日の話を聞いて、寡黙でも真面目に仕事をすることで、この人にならついているかと思われるリーダーもいるということ、また営業マンで弁が立たなくても、聞き上手で要望を掴み、誠意を持って対応することで信頼を得ている人もたくさんいるということを知りました。こういうタイプにはこういう仕事と決めつけてはいけませんね。息子は、コツコツと物事を進めるタイプで、敵をつくらず協調性もあります。人にもやさしくできます。就職活動には自己分析が欠かせませんが、そういう息子の良い点を伝えてあげたいと思いました。

就職先について特に要望はありませんが、親としては、本人が人間的に成長できるような仕事や会社を見つけてほしい。そして、やるからには続けてほしい。でもどんなに頑張っても、自分が自分でなくなってしまう、あるいは病気になるってしまいうくらいなら辞めてもいい。そういう判断が自分でできる大人になってほしいですね。今日は、息子が就職活動をしている気配がなく心配で参加しましたが、いろいろ勉強になる話を聞くことができた有意義な時間でした。

14 総合大学で人間関係の土台を築いてほしい。

応用生物学部 応用生物化学科
3年のお母様

高木様

娘が3年生になり、親としても大学の就職サポート体制を少しでも知っておいた方が安心できると思いい『父母との集い』に参加しました。サポートは細かくしつかりしているという印象でしたが、肝心なのは本人のやる気です。親が焦っても本人が行動しなければどうしようもありません。子どもも親から言われるより、先生などから言ってもらったほうが、素直に受け入れられるのではないのでしょうか。まだ、娘も就職については漠然としていると思います。興味がある会社があればできる限り挑戦してほしいですね。有名な企業はほんの一部。名前が知られていない企業でも優れている会社はたくさんありますし、有名な会社でも、仕事は本人と合わなければ長続きしませんから。あと大切なのは人間関係です。人間ですから、どんな人ともうまく関係を保つことはできませんが、苦手な人とでもしっかり仕事ができる

15 『父母との集い』は、ありがたい機会。

国際関係学部 中国語中国関係学科
4年生の二両親

小野様

息子がどんな学生生活を送っているのかを知りたくて、1年生のときから『父母との集い』に欠かさず参加し、毎回面談もさせていただいています。家でもなかなか話す時間が取れないこともあります。今日、今日は面談で、息子がキャリアセンターに顔を出していることや就職活動の進み具合などを聞くことができました。4年生になった今は、就職活動が活発化する時期。昨年、3年生を対象とした就職活動支援のための『父母との集い』に参加し、親としても備えたつもりだったのですが、早一年が経ってしまいました。日頃のコミュニケーションが足りなかったかなと感じ

16 厳しい時代を生き抜く強い個を育ててほしい。

人文学部 歴史地理学科
2年生の二両親

四方様

『父母との集い』の就職に関するお話で示された経済産業省のデータに、企業に勤める者として違和感を覚えました。企業が学生に求める能力がチームワーク力やコミュニケーション力であるというの、いささか時勢にそぐわないのではないのでしょうか。今、日本の企業は世界のマーケットで苦戦しているのはご存じの通りです。生産現場では、固定費を削減するために人員整理をこまめにしていかなければなりません。そのような状況で上司から仕事をまかされた

ていますが、今からでも遅くないことを今日は確認できたのでよかったですね。先生からは、「何かあれば個別に連絡をもらえれば」と言っていたけどこれはとほはありがたいことですが、実際に足を運んで相談に行くのは難しいもの。先生に心配事を相談することがないように、家でうまく進めていければと思います。



ときには、言われたことだけをこなすのではなく、独自に新しいことを切り拓いていく発想がないと評価されません。いつ人が減らされるのかわからないという環境で、「お前には、どのようなポテンシャルがあるのか」と、試され続けるのです。仲間とのんびりやっている場合ではありません。もちろん、調整力という意味でのコミュニケーション力は必要です。学生時代に部活動などでリーダーシップを求められる立場にあった人には身につけていることが多いと感じます。失敗したとき、きちんと謝ることができて、次は頑張りますときちんと言えぬ人々です。こういう人は、強い。学生時代には、たくさん経験を積んで、「個」を強くしてほしいと思います。

息子は保育士を目指すが一般企業に就職するまで迷っているようです。今日は、私自身も周りの状況がわかりませんし、どのように就職活動を進めていくのがよいのかを知りたくて参加しました。地元では男性の保育士や就職口が少ないことに息子は不安を感じているようで、親としても心配です。ただ、どちらに進むかは自分で決めなければなりません。大学入学後は、もって世界を広げていくと思っただけですが、あまり広がりがなく、少し残念です。ただ、授業は遅刻もせず真面目に出席しているの、そういうことを就職活動に生かすことができればよいと思います。中部大学は、広くて明るい雰囲気、学生も多くて活気を感じます。先生と学生との距離も近く常にやりとりができるようで、そこは安心できる点ですね。

現代教育学部 幼児教育学科
4年生のお母様

川崎様

17 明るく活気のある大学。
先生との距離の近さに
安心していきます。

平成25年度 「父母との集い」ご案内

ご子息・ご息女の大学生活を知っていただく絶好の機会です。とくに、新入生のご父母の皆さまには参加をおすすめしております。ぜひこの機会にご参加ください。

大学会場 場所：中部大学 1・2年生の保護者様限定

11月9日(土) 対象学部 工学部・経営情報学部・国際関係学部

11月10日(日) 対象学部 人文学部・応用生物学部・生命健康科学部・現代教育学部

■プログラム

- 9:30～ 受付
- 10:00～ 全体会 ▶ 学長あいさつ／学生生活について／就職の活動支援について
- 11:30～ 学内見学・昼食 ▶ 附属三浦記念図書館・民族資料博物館など
- 13:00～ 学部(学科)説明会 ▶ 教育方針等の説明／学科の先生方による個別面談(要申込)

下記場所にて各種相談を受け付けています。 13:30～

- キャンパスプラザ1Fラウンジ ● 学生生活コーナー ● 入試相談コーナー(大学院・学部)
- キャンパスプラザ2F国際交流プラザ ● 留学相談
- キャリアセンター ● 就職コーナー

全体会

大学のバックアップ体制をわかりやすくご説明いたします。

学部(学科)説明会

在籍学部・学科の近況をお伝えします。

個別面談

各学科教員や就職担当者が直接お応えいたします。

学内見学

広大なキャンパス内を自由にご見学いただけます。

地方会場

今年は以下の6会場で開催いたします。お申込みの上、お近くの会場へご参加ください。

- 四日市会場 9月22日(日) 四日市都ホテル
- 広島会場 9月28日(土) ホテルニューヒロデン
- 松本会場 10月6日(日) ホテルモンターニュ松本
- 浜松会場 10月12日(土) オークラクトシティホテル浜松
- 富山会場 10月19日(土) ホテルグランテラス富山
- 岐阜会場 10月26日(土) 岐阜グランドホテル

■プログラム

- 10:00～ 受付
- 10:30～ 全体会
- 12:00～ 昼食
- 12:50～ 個別面談

専用ハガキでお申し込みされていない方は、ご希望の会場・期日を選び、事務局まで至急お申し込みください。

中部大学
後援会事務局

TEL.0568-51-4745

大学会場は1・2年生の保護者様のみご参加いただけます。また、大学会場は開催日ごとに対象学部が異なります。ご注意ください。

少し遅いスタートでしたが、夢を追い続けてちゃんと作業療法士になれましたか?今、苦戦している解剖学を未来の私はマスターしていると信じています。患者さんに愛される作業療法士になってくださいね。できれば、プライベートも充実していますように。

生命健康科学部 作業療法学科2年

荒川 佑子さん



今、私は夢に向かって勉強や部活に一生懸命頑張っています。大学で一生懸命取り組んだことは生かしていますか?きっと、たくさん子どもたちに好かれる幼稚園教諭となり、チアリーディング部で養った笑顔で、毎日輝いて仕事をしていますよね。今まで出会った友人、中部大学で出会った友人と10年後も関わりを持ち、その後もつながっていることでしょう。大学で頑張ることは、必ず未来へつながるものだと信じています。

現代教育学部 幼児教育学科1年

小出 史絵さん



未来への 手紙 10年後の自分へ

どのような仕事をしていますか?結婚はしていますか?もし、大切な人や家族がいるのであれば、もっと大切にしてください。仕事では、まだまだ困難が出てくると思いますが、自分の決めた道や決断を信じて進んでください。

経営情報学部 経営学科3年

加藤 綜馬さん



今、自分の夢を叶えるために日々努力していますが、未来の自分はあのかの頃の夢を叶えていますか?今の自分は臨床工学技士になるべく、毎日難しいレポートに追われています。今、一生懸命やっていることは役に立っていますか?自分は役に立つことを信じてこれからも頑張っていきます。

生命健康科学部 臨床工学学科2年

市川 達さん



未来の自分へ。10年後、私は何をしていますか?大学2年生の今、周囲では資格取得や就職が話題にのぼっています。皆、将来について考えています。私も自分が今何をすべきかを探してもがいています。将来についての不安もあります。心身は健康ですか?無事就職できましたか?人間関係は上手くいっていますか?10年後も今と同じような不安を抱えていますか?ぜひ、あなたに直接会って話し合いたいです。今は何も分かりませんが、10年後の自分に会えるよう頑張りますので、自分自身を褒めてあげてください。

工学部 電気システム工学科2年

本間 武さん

10年後の自分へ。病院で看護師として働いていますか?第一希望である小児科で働いていますか?今は、まだまだ未熟で実習でも苦戦しています。看護師を目指し頑張っていた学生時代の気持ちを忘れず、これからも患者さんの笑顔のために頑張ってください。

生命健康科学部 保健看護学科4年

後藤 千尋さん



10年後の私へ。私の夢は、幼稚園の先生になることです。10年後の私は夢を叶えていますか?ありさとゆいと今みたいに、大きな声で楽しく話していますか?ステキな人と結婚していますか?10年後、ステキな自分になっているためにも、私は今を頑張ります。

現代教育学部 幼児教育学科2年

高橋 憂奈さん

未来の自分へ。今、何をしていますか?誰かに夢を与えることができているですか?大学の頃の自分は学校の先生になりたがっていたけど、後悔のないような職種につけていますか?まだまだ社会人になって数年しか経ってないけど、もっと未来の自分が笑顔でいられるように頑張ってください!!

人文学部 心理学科1年

重 佳輔さん



10年後の自分へ。こんにちは!!元気で生きていますか?この文章を書いている時は、大学で頑張っています。自分の夢はハリウッドスターになって、お金持ちで、美人な妻と幸せな家庭を築くことです。夢は順調に進んでいますか?自分なら余裕でやっていけてそうだな。とりあえず、「今」を頑張って生きていきます。10年後の自分、待っていてください。

人文学部 心理学科1年

田口 道将さん



10年後の自分へ。頑張ってる仕事をして幸せな生活を送れていますか?ちゃんと大切な人を守れていますか?今、勉強を頑張っていますが、資格はしっかり取得できていますか?未来の自分が、この質問に「はい」と答えられる人間になれていると信じています!一生懸命頑張ってください。

経営情報学部 経営情報学科2年

木本 敏之さん



最近学んだことや感動したこと、
自分自身で頑張っていること、あるいは
抱えている悩み、これから叶えたい夢や目標など、
いま学生の皆さんの心の中にある思いを、
”未来の自分宛て”に手紙として書いてもらいました。
そこには、忘れたくない思い出や
励ましのメッセージなど、いろんな思いがありました。
※突然のインタビュにも関わらず、快く書いてくださった学生の皆さん、
ご協力ありがとうございました。(信頼編集者より)

今、狭き門と言われる林業関係の職業に就けるように勉強を頑張っています。10年後、あの時にこれをやっておいてよかったと思えるように、これから先も頑張っていけます。

応用生物学部 環境生物科学科3年

小林 療平さん

今、大学で中国について学んでいますが、将来どんな道に進んでいるのかわかりません。自分で予想もしなかった出来事にたくさん出会っていると思います。どんな状況であろうと、一生懸命頑張ってください。

国際関係学部 中国語中国関係学科2年

北原 志穂さん

役員会・ 評議員会

報告

平成25年5月25日(土)、
名鉄ニューグランドホテルにて、

平成25年度中部大学後援会

役員会・評議員会が開催されました。

ご多忙の中、役員、評議員の皆さま

大勢のご出席をいただき、

すべての議事が滞りなく無事進行、

終了いたしました。



平成24年度

後援会事業報告・

決算報告

はじめに小澤寿行会長より、昨年度からの会長任務を振り返り、皆さまのご協力により遂行できたことへの謝辞と本会開会の挨拶を述べられました。

続いて山下興亜学長が挨拶に立たれ、日頃の後援会による大学への教育・就職支援に対してのお礼とともに、大学の近況、学生の就職状況、大学が力を入れているキャリア教育について報告されました。また来年、大学が開学50周年を迎えるにあたり、学生が自ら学び人間力を高めるための施設、学生支援センター棟(仮称)の設置、春日井商工会議所と連携・協定した報酬型インターンシップの取り組みへの準備活動についてお話がありました。その後、事務局より出席状況の報告と本会の成立が宣誓され、慣例により議長に小澤会長が選出、各議案の審議へと移りました。

第1号議案、第2号議案に進み、事務局から平成24年度の事業・決算報告



小澤会長によるご挨拶。

および、舟橋監査より監査報告がおこなわれ、皆さまのご理解をもって異議なく承認されました。

新監査が決定、 事業・予算案も 無事承認

第3号議案「役員・評議員の選出・委嘱」では、舟橋監査の任期終了に伴う欠員の報告がされ、後任については乾高章氏が推薦され、満場一致で承認されました。他の役員については再任となりました。また、顧問には飯吉理事長をはじめとした10名の先生方が委嘱され、同時に欠員にともない幹事・評議員が委嘱されました。

続いて、第4号議案「平成25年度事業計画案」、第5号議案「平成25年度

予算案」がともに審議され、皆さまの拍手をもって承認されました。

最後に、記念事業寄付金の目録贈呈が小澤会長から山下学長へ行われ、山下学長からは、任期を終えられた舟橋監査に労いの言葉とともに記念品が贈呈され、本年度の後援会役員会・評議員会は無事閉会しました。閉会後は場所を移しての懇親会が行われ、大学と学生の間に立つて大学を発展させていく後援会の役割について再確認しながら、先生方と役員・評議員の皆さまが談笑を交え、お互いに親睦を深めました。



山下学長から監査の任期を終えた舟橋氏へ、記念品が贈られました。

平成25年度計画

■平成25年度 事業計画

会員と大学との連絡をはかる事業

1. 会議の開催

- 役員会・評議員会及び懇親会
- 大学の先生方との懇親会

2. 「父母との集い」の開催

開催日	開催地	会場
9月22日(日)	四日市	四日市都ホテル
9月28日(土)	広島	ホテルニューヒロデン
10月 6日(日)	松本	ホテルモンターニュ松本
10月12日(土)	浜松	オークラアクティホテル浜松
10月19日(土)	富山	ホテルグランテラス富山
10月26日(土)	岐阜	岐阜グランドホテル
11月 9日(土)	大学	中部大学(工・経・国:1、2年生対象)
11月10日(日)	大学	中部大学(人・応・生・現:1、2年生対象)

就職活動支援のための「父母との集い」

開催日	開催地	会場
5月11日(土)	大学	中部大学(4年生対象)
6月15日(土)	大学	中部大学(3年生対象)

3. 出版事業

- 後援会会報「信頼」の刊行(全会員)

大学への助成

1. 教育・研究への協力
2. 就職活動に対する援助(学内企業説明会)

学生に対する助成

1. 課外教育活動に対する援助
2. チャレンジサイトへの援助
3. 就職活動に対する援助
 - ①学内企業説明会
 - ②資格取得講座・就職対策試験検定料等の補助
 - ③就職支援対策補助
4. 奨学援助
5. 災害見舞金の給付

■平成25年度 予算書

収入の部 単位(円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
前年度繰越金	14,248,031	11,863,740	2,384,291	
後援会会費	135,750,000	129,360,000	6,390,000	平成25年度新会員 2,751名×@50,000 複数在籍者 会費減免 △60名×@30,000
雑収入	12,360	15,200	△2,840	預金利息
合計	150,010,391	141,238,940	8,771,451	

支出の部 単位(円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	摘要
助成金	101,795,000	101,220,000	575,000	
記念事業寄付金	13,755,000	13,080,000	675,000	平成25年度新会員 2,751名×@5,000
課外活動援助金	37,460,000	44,110,000	△6,650,000	課外活動援助金、 スポーツ大会援助金、医療費、 NPOボランティア活動援助金
教育・研究協力費	27,510,000	26,160,000	1,350,000	平成25年度新会員 2,751名×@10,000
就職活動援助金	13,070,000	8,870,000	4,200,000	学内企業説明会 就職支援対策費、 各種講座費用補助、 就職対策検定料補助
学生研究支援金	7,000,000	6,000,000	1,000,000	チャレンジサイト協力費
奨学援助金	2,000,000	2,000,000	0	
教育活動振興支援費	1,000,000	1,000,000	0	教育活動顕彰制度に対する援助
事業費	24,000,000	24,000,000	0	
地区別後援会費	12,000,000	12,000,000	0	「父母との集い」会場費等
会議費	4,000,000	4,000,000	0	役員会・評議員会、役員懇親会
印刷出版費	7,000,000	7,000,000	0	「信頼」作成費等
災害見舞金	1,000,000	1,000,000	0	
事務費	6,970,000	6,812,000	158,000	
通信運搬費	3,900,000	3,890,000	10,000	案内発送費等
事務委託費	2,000,000	2,000,000	0	事務担当者委託費
印刷費	300,000	300,000	0	封筒等
消耗品費	300,000	300,000	0	コピー用紙、事務用品等
旅費	20,000	20,000	0	交通費
租税公課	0	2,000	△2,000	印紙代等
雑費	450,000	300,000	150,000	弔電・供花、振込手数料等
積立金繰入	1,000,000	1,000,000	0	
中部大学50周年 記念事業寄付積立金	1,000,000	1,000,000	0	
予備費	5,000,000	1,000,000	4,000,000	
次年度繰越金	11,245,391	7,206,940	4,038,451	
合計	150,010,391	141,238,940	8,771,451	

平成24年度報告

■平成24年度 事業報告

月日	事業概要
[平成24年]	
5月12日	●就職活動支援のための「父母との集い」(4年生対象) 出席者数391名/全体会、学部(学科)懇談会、個別面談(三浦幸平メモリアルホール)
5月19日	●役員会・評議員会・懇親会(キャッスルプラザ) 平成23年度事業報告、決算報告、役員、評議員改選/平成24年度事業計画、予算審議
5月21・22・24・25日	●「学内企業説明会」協賛(中部大学キャリアセンター主催) 参加企業187社/学生参加者数1,204名(三浦幸平メモリアルホール)
6月1日	●平成24年度「父母との集い」案内号発行、発送(全会員)
6月2日	●就職活動支援のための「父母との集い」(3年生対象) 出席者数637名/全体会、学部(学科)懇談会、個別面談(三浦幸平メモリアルホール)
6月6日	●祝金贈呈(幸友会室) 剣道部 東海女子学生剣道選手権大会 個人優勝
7月19・20・23・24日	●「学内企業説明会」協賛(中部大学キャリアセンター主催) 参加企業190社/学生参加者数836名(三浦幸平メモリアルホール)
8月1日	●2011年度教育活動顕彰授賞式(スチューデントホール) 後援会より、教育活動振興支援費として援助(教育活動優秀賞10名)
8月6日	●中部大学後援会会報「信頼」第58号発行、発送(全会員)
9月30日~11月11日	●「父母との集い」開催 松本(台風接近により中止) 金沢、四日市、岐阜、浜松会場/全体会、個別面談 大学会場/全体会、学内見学、学部(学科)説明会、個別面談
10月25・26・29・30日	●「学内企業説明会」協賛(中部大学キャリアセンター主催) 参加企業199社/学生参加者数671名(三浦幸平メモリアルホール)
[平成25年]	
1月10・11・17・18・21日	●「学内企業説明会」協賛(中部大学キャリアセンター主催) 参加企業245社/学生参加者数440名(リサーチセンター)
2月13日	●役員懇親会(キャッスルプラザ)
2月12~14日	●「学内企業説明会」協賛(中部大学キャリアセンター主催) 参加企業509社/学生参加者数2,916名] 体育館
2月18~20・25~27日	参加企業259社/学生参加者数1,859名] 三浦幸平メモリアルホール
2月28日・3月31日	参加企業115社/学生参加者数200名]
資格取得講座・公務員講座補助	6講座 290名受講
就職対策試験検定料補助	29種 2,686名受講

■「父母との集い」実施状況 参加者 2,315名

開催地	会場	開催日	参加者
大学	中部大学三浦幸平メモリアルホール	5月12日(土)	391名
大学	中部大学三浦幸平メモリアルホール	6月2日(土)	637名
金沢	ホテル金沢	10月6日(土)	40名
四日市	四日市都ホテル	10月14日(日)	49名
岐阜	岐阜グランドホテル	10月21日(日)	117名
浜松	オークラアクティホテル浜松	10月28日(日)	86名
大学	中部大学体育館	11月11日(日)	995名

■平成24年度 収支報告書(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)

収入の部 単位(円)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
前年度繰越金	11,863,740	11,863,740	0	
後援会会費	129,360,000	129,330,000	30,000	平成24年度新会員2,616名 複数在籍者 会費減免△49名
雑収入	15,200	15,309	△109	預金利息
収入合計	141,238,940	141,209,049	29,891	

支出の部 単位(円)

科目	予算額	決算額	差異	摘要
助成金	101,220,000	100,625,975	594,025	
記念事業寄付金	13,080,000	13,080,000	0	平成24年度新会員2,616名
課外活動援助金	44,110,000	44,110,000	0	課外活動援助金、 スポーツ大会援助金、医療費、 NPOボランティア活動援助金
教育・研究協力費	26,160,000	26,160,000	0	平成24年度新会員2,616名
就職活動援助金	8,870,000	8,940,645	△70,645	学内企業説明会、 各種講座補助、 就職対策試験検定援助
学生研究支援金	6,000,000	6,000,000	0	チャレンジサイト協力金
奨学援助金	2,000,000	2,000,000	0	
教育活動振興支援費	1,000,000	335,330	664,670	教育活動顕彰制度に対する援助
事業費	24,000,000	18,816,721	5,183,279	
地区別後援会費	12,000,000	9,107,146	2,892,854	「父母との集い」会場費等
会議費	4,000,000	3,230,055	769,945	役員会・評議員会、 講演会、役員懇親会
印刷出版費	7,000,000	6,479,520	520,480	「信頼」作成費等
災害見舞金	1,000,000	0	1,000,000	
事務費	6,812,000	6,518,322	293,678	
通信運搬費	3,890,000	3,613,585	276,415	案内発送費等
事務委託費	2,000,000	2,000,000	0	事務担当者委託費
印刷費	300,000	241,000	59,000	封筒等
消耗品費	300,000	230,378	69,622	コピー機保守料、事務用品等
旅費	20,000	5,420	14,580	交通費
租税公課	2,000	0	2,000	印紙代
雑費	300,000	427,939	△127,939	弔電・供花、振込手数料等
積立金繰入額	1,000,000	1,000,000	0	
大学開学50周年記念基金	1,000,000	1,000,000	0	
予備費	1,000,000	0	1,000,000	
次年度繰越金	7,206,940	14,248,031	△7,041,091	
支出合計	141,238,940	141,209,049	29,891	

平成25年度中部大学後援会役員・評議員

顧問

[理事長・総長]
飯吉 厚夫

[学長]
山下 興亜

[副学長]
中島 泉
後藤 俊夫
小野桂之介

[学監・後援会事務局長]
三浦 昌夫

[教務部長]
大西 直之

[学生部長]
栗濱 忠司

[キャリアセンター長]
佐藤 厚

[事務局長]
川尻 則夫

会長

小澤 寿行

副会長

加藤 鉄男
藤井 勝也

監査

酒井 智康
大柳 一三
乾 高章

幹事

皆方 克夫
中島 久英
長谷 治清
伊藤 誠
水野 直利
杉野 哲司
福島 金治
小野 茂樹
永家 秀夫
長谷 部明
大岡 義和
稲垣 昌宏
杉本 富夫
久野 泰俊
佐竹 一芳
國井 康弘
岡田 元
山根 満
木村 大介
鈴木 鎮雄
瀧川 靖

小澤 浩
西脇 義郎
奥山 孝則
武藤 恒夫
大島 実
渡邊 勝己
河地 隆
増井 康
林本 知明
横山 豊
松本 敬史
山本 信幸
森本 茂
竹内 数夫
澤田 高樹
熊澤 秀作
長尾 伸一
梶田 隆之
西尾 崇
村瀬 満俊
伊丹 伸司
伊藤 慎一
堀池 明
松島 利和
近藤 隆義
萩田 典由
傍島 茂夫
土居 正司
佐野 雅彦
二村 葉子
大森 雅之
田中 康隆
中根 志郎
伊藤 寿規

安藤 達也
田中 康司
岡田 裕吉
藤田 幸平
加藤 比佐夫
戸川 幸治
羽賀 幸一
奥山 正一
坂口 直宏
武藤 和成
中野 兼
長沼 邦彦
古池 俊通
上平 論
高田 真二
池ノ谷 昭
岡本 博馨
美濃島 馨
小倉 浩靖
永田 孝
高原 宏彰
森 重人
杉山 正幸
小島 保彦
小椋 浩二
小笠 昌宣
市原 裕司
森山 行良
高田 芳紀
溝口 直樹
山田 利康
高木 幸典
平光 雅明
森 信一郎

伊藤 和義
加藤 道夫
奈良 章
古代 光延
矢代 浩一
三船 正雄
下村 忠
榊原 正弘
里中 英雄
野中 滋弘
小野 昌宏
東野 一彦
佐藤 敬二
鈴木 裕幸
西田 光男
澤田 和彦
熊井 俊哉
加藤 裕治
伊藤 一陽
関谷 和宏

奥田 清人
金武 文博
高田 慶之
山本 浩司
速水 賀雅
鈴木 臣二
松原 裕一
三好 健司
毛受 慎悟
余吾 昭彦
白井 博司
筒井 孝一
小山 邦壽
堀辺 克彦
前川 欣也
高村 富男
堀田 誠治
中村 保之
石黒 信男
籠橋 宏
福田 千尋
川上 義彦
小出 憲一
加納 威
高木 功司
水谷 修
遠藤 水富
水草 雄治
近藤 雄司
加藤 佐起子
小澤 栄二
猪野 浩史
倉内 久幸

小澤 寿広
山本 雅明
鈴木 芳信
横井 正幸
太田 敦之
橋本 勝洋
永田 貴司
榊原 正樹
木下 京司
鷹見 偉
上田 宏
入谷 貴也
福盛 正和
小野 浩司
金崎 登士
山崎 美敏
林 勝
柳生 高之
林 幸広
横地 秀行
大矢 康浩
伊藤 直隆
佐渡 孝文
赤尾 忠則
長崎 隆之
村瀬 正志
足立 陽詳
野々垣 学
洪谷 昌秀
新實 美津子
近藤 秀徳

進士 巧
柴田 憲助
福永 智司
柏木 博喜
東松 正雄
井上 光司
神田 永吉
加藤 高明
渡邊 義昌
酒井 政人
伊藤 規司
河野 孝司
水野 高芳
瀬戸口 善行
瀬川 文博
守屋 林伸
河原 博
池之上 新治
小池 大二
安藤 雄彦
高柳 勝彦
山口 敏弘
吉澤 真二
小出 昌人
柴田 和彦
長縄 克己
池田 加藤 真人

評議員

西垣 清司
梅村 英樹
朝倉 利浩
松山 宗平
前口 一郎
作野 薫
林 勝久
東山 克芳
上原 且資
岩城 高則
武山 静

中部大学後援会会則

- 第1条 本会は中部大学後援会と称する。
- 第2条 本会の事務局は中部大学内におく。
- 第3条 本会は中部大学に協力し、大学を後援することを目的とする。
- 第4条 本会は前条の目的を達するために、次に掲げる事業を行う。
(1) 大学の教育、研究及び施設設備の拡充
(2) 学生の就職斡旋活動に関する援助
(3) 大学と父母との連絡・会報の発行
(4) 学生の福利厚生・奨学金援助
(5) 学生の課外教育活動育成に必要な事業・援助
(6) その他本会の目的達成に必要な事業
- 第5条 本会は次の会員をもって組織する。
正会員 中部大学学生の父母
賛助会員 本会の趣旨に賛助する者
- 第6条 本会に次の役員をおく。
会長 1名 / 副会長 2名 / 幹事 各学科若干名
監査 3名 / 顧問 若干名
- 第7条 会長、監査は評議員会において会員のうちから選出する。
2 副会長、幹事は会員のうちから会長が委嘱する。
3 顧問は役員会の議を経て会長が委嘱する。
- 第8条 役員は任務は次のとおりとする。
会長は会務を総理し、本会を代表する。
副会長は会長を補佐し、会長の事故あるときはその職務を代行する。
幹事は会長の指示を受け、会務を行う。
監査は本会の事業及び会計の監査にあたる。
顧問は本会の重要事項について会長の諮問に応じ又は助言する。
- 第9条 役員は任期は1年とする。ただし、重任を妨げない。
2 役員は任期満了後でも、後任の役員が選出されるまでは、なおその職務を行う。
- 第10条 役員会は役員をもって組織し、会長が招集する。
2 役員会は次の事項を審議決定する。
(1) 事業計画に関する事項 (2) 予算に関する事項
(3) 決算に関する事項 (4) その他会長が必要と認める重要事項
3 役員会は役員総数の過半数の出席(委任状を含む)をもって成立し、議事は出席者の過半数によって決定する。

- 第11条 本会に評議員会をおき、評議員をもって組織する。
2 評議員会は毎年1回会長が招集し、次の事項を取り扱うものとする。
(1) 事業計画の承認 (2) 予算、決算の承認
(3) 会長及び監査の選出 (4) 会則の改正
(5) その他役員会において重要と認める事項
3 臨時評議員会は、必要に応じて会長が招集する。
4 評議員会は、評議員総数の過半数の出席(委任状を含む)をもって成立し、議事は過半数の同意によって決定する。
5 評議員会は会員のうちから別に定める定数基準によって会長が委嘱する。
6 評議員の任期は2年とする。ただし再任を妨げない。
- 第12条 本会の経費は会費及び寄付金をもってあてる。
2 正会員の会費は50,000円とし、子女入学の際に納入する。
3 賛助会員の会費は、50,000円以上とし、入会の際に納入する。
- 第13条 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- 第14条 本会の事務局は、庶務、会計の事務にあたる。
- 第15条 本会に地方支部をおくことができる。

[附則]

- (1) この会則は昭和42年4月13日から施行する。
- (2) この会の運用について必要な細則は役員会において別に定める。
- (3) 昭和43年 4月12日 一部改正
- (4) 昭和45年 4月 8日 一部改正
- (5) 昭和46年 4月 8日 一部改正
- (6) 昭和48年 4月 8日 一部改正
- (7) 昭和50年 4月 7日 一部改正
- (8) 昭和50年12月20日 一部改正
- (9) 昭和59年 4月 1日 一部改正
- (10) 昭和61年 4月 1日 一部改正
- (11) 昭和62年 4月 1日 一部改正
- (12) 平成12年 5月27日 一部改正

施設利用 & イベント開催のご案内

多彩な設備を完備し、教養を深める知的資産の提供や生涯学習などをおこなっている中部大学。
開かれた総合大学をぜひご活用ください。

附属三浦記念図書館/民族資料博物館

多種多様な学術情報を提供。

地下2階、地上3階建ての建物に、約43万冊の蔵書冊数を誇る「知の宝庫」。大学全体では約61万冊を蔵書しています。視聴覚資料も整備され、音楽・語学用のテープ、CDやビデオを、専用ブースで楽しめます。また、同館2階には、国際関係学部が研究者らが研究の一環として集めた国際色豊かな資料を展示する「民族資料博物館」もあります。保護者の皆さまにもご利用いただけます。



附属三浦記念図書館



民族資料博物館

中部大学音楽祭

年に一度開かれる冬の音楽祭。

中部大学音楽祭は1976年に学園が設置する3つの学校の学生・生徒による吹奏楽の合同演奏会として始まり、28年間学園の伝統行事として行ってまいりましたが、春日丘高校、中部大学第一高等学校はそれぞれ独自に演奏会を行うまでに成長。これを機に装いも新たにスタートした中部大学音楽祭は昨年で9回目を数えました。次回、第10回目は、2013年12月7日(土)に開催の予定です。詳細は、決定次第ホームページで公開いたします。



新穂高山荘

四季折々の魅力を満喫できます。

新穂高山荘は、新穂高温泉郷のほぼ中央に位置する絶好のロケーションが魅力です。スケールの大きい雄大な山岳美と新緑・紅葉の美しさは、まさに自然の宝庫。溪流にそった16,000m²の敷地には、24時間利用可能な石造りの露天風呂を備えた温泉施設もあります。学生、教職員、卒業生とご家族の厚生施設として利用され、もちろん在学生のご家族もご利用いただけます。お申込みは後援会事務局まで。



オープンカレッジ

オープンカレッジ聴講生募集。

地域の皆さまに大学の講義をオープンカレッジとして開放しています。その数、約150科目。中部大学の選りすぐりの講義を大学生と一緒に受講してみませんか?学生食堂や図書館、駐車場、スクールバス(1回200円)もご利用いただけます。

講義期間	春学期:4月~7月 秋学期:9月~1月
講義回数	週1回(約4ヵ月間)14~15回
聴講料	1科目10,000円 ※後援会会員とその配偶者の方は5,000円となります。
登録料	5,000円(初回のみ) ※後援会会員の方は無料となります。
お問い合わせ	Eメールまたはお電話にてお問い合わせください。 E-mail:ext@chubu.ac.jp (エクステンションセンター) TEL.0568-51-4392 (直通)
	中部大学 エクステンション 公開講座 <input type="button" value="検索"/>



ステキな仲間たちと学ぶ、
 キャンパスライフ。
 キラキラと輝く将来に
 向かって過ごす日々は、
 一生の宝物です。





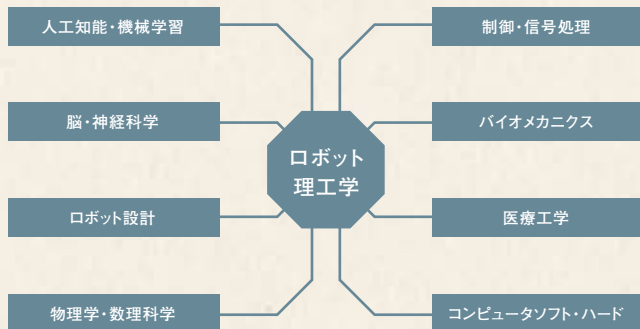
My CAMPUS LIFE



工学部にロボット理工学科(届出中)*が誕生

※2014年4月収容定員増加の認可申請中

実践的な工学技術を網羅的に学ぶロボット理工学



教員は情報、電気・電子、機械、臨床工学などの最先端技術を持った世界的に活躍する研究者。卒業研究では、それぞれの分野で最先端のロボット研究を行います。だから、就職先も豊富。これまで各研究室からは情報系、電気・電子系、機械系その他、医療技術系への高い就職実績があります。

想定される進路

卒業後の進路としては、自動車関連企業等の製造業だけでなく、医療・福祉分野、生活関連サービス業、災害作業や危険物処理関連など、さまざまな職種が想定されます。

2014年4月、工学部開設50周年を迎える年に、工学部8番目の学科としてロボット理工学科(届出中)*が誕生します。日常生活から高度な専門分野まで、さまざまなシーンでロボットの活躍が期待されるようになり、ロボット領域の優秀な技術者が求めら

れています。人間社会の中で人とロボットが共存しながら社会が形成されていく時代が到来します。ロボット理工学科(届出中)*が目指すのは、そんな時代のニーズに合った未来志向型の技術開発ができるロボットエンジニアの養成です。

応用化学科の拠点「14号館」が完成



武道館跡地に建設中だった14号館が2013年3月に完成しました。鉄筋コンクリート構造の地上6階建てで、1階には学生ラウンジやセミナー室などの工学部共通スペースが、2階から6階には応用化学科の実験室や研究室が入っています。学生実験室は、無機系、

有機系、物化・化工系の3つに分かれており、13年生が各専門実験を行っています。また、各実験室にはドラフトやガスクロ、最新式のプロジェクトも設置されています。2013年度から、応用化学科が14号館を拠点に新たなスタートを切りました。

「学生支援センター棟(仮称)」まもなく着工



画像は計画段階のイメージです

開学50周年記念事業の一つ、総合的な学生支援の拠点施設としての「学生支援センター棟(仮称)」の建設が間もなく始まります。学生支援センター棟は、学生同士が積極的に交流できる環境整備として、「スチューデント・commons」、「ラーニング・commons」、「多目的大

ホール」などを擁し、学生が自ら学び、さまざまな活動ができる場を提供します。建物内には学生たちの憩いの場所となるオープンテラスを備えた「カフェテリア・スペース」も設けます。今年の11月に着工し、2015年3月に完成予定です。

生命健康科学研究科に新専攻を開設(予定)

■本専攻の2つの領域

リハビリテーション生体機能学領域

高度リハビリテーションの科学的基盤に関わる教育研究を担当し、リハビリテーションの専門技術者あるいはその関連技術者が「予防」、「QOLの向上」、「健康増進」と「疾病からの回復」の科学的な根拠、特に痛みと健康スポーツによる生体機能を深く解明します。

入学を期待する人

理学療法士、作業療法士の資格を有する人のほかに、リハビリテーションに関心を持ち、将来その方面(特に健康スポーツの分野)で活躍を希望している人

リハビリテーション療法学領域

実践的リハビリテーションに関わる教育研究を担当し、リハビリテーションの専門技術者が高度なリハビリテーション学を学ぶことにより、リハビリテーションのより高い技術や知識を修得し、新しいリハビリテーション技術や考え方を開発します。

入学を期待する人

理学療法士、作業療法士の資格を有する人

2014年4月に、大学院生命健康科学研究科に既設の生命医科学専攻と看護学専攻に加えて、「リハビリテーション学専攻(修士課程)」を開設します。本専攻では、科学的な根拠に基づく「QOL向上」、「予防」、「健康増進」、「疾病からの回復」の視点を踏まえ

たりハビリテーション医療を牽引できる、高い専門性と総合性を備えた高度専門職業人を育成します。授業は、平日夜間(18時〜)と土曜日も開講して研究指導を行うため、社会人にも学びやすい履修環境です。

Campus Map

- ① 1号館〈本部棟／事務局／教務部／学生部〉
- ② 2号館〈事務局／研究室／講義室／ゼミ室／キャリアセンター／エクステンションセンター／渉外部〉
- ③ 3号館〈生産技術開発センター／分析計測施設／実験室〉
- ④ 5号館〈研究室／実験室／ゼミ室〉
- ⑤ 新5号館〈メディア教育センター／実験室／講義室〉
- ⑥ 6号館〈研究室／講義室／実験室／ゼミ室〉
- ⑦ 7号館〈工学センター棟／工学部事務局／研究室／ゼミ室〉
- ⑧ 8号館〈CAD教育施設／実験室／実習室〉
- ⑨ 9号館〈保健管理室／講義室／研究室／学生ラウンジ／教職支援センター／学習支援室〉
- ⑩ 10号館〈コンピュータサポートデスク／講義室／ゼミ室／学生ラウンジ〉
- ⑪ 11号館〈研究室／実験室／講義室〉
- ⑭ 14号館〈セミナー室／実験室／研究室〉
- ⑮ 15号館〈工事中〉
- ⑯ 16号館〈総合研究センター〉
- ⑰ 17号館〈研究室／実験室〉
- ⑱ 18号館〈材料構造実験施設〉
- ⑲ 19号館〈語学センター／建築製図室／第2学生ホール／講義室／学生ラウンジ〉
- ⑳ 20号館〈国際関係学部事務局／研究室／ゼミ室／学生ラウンジ／日本語教育センター／語学センター〉
- ㉑ 21号館〈経営情報学部事務局／研究室／講義室／ゼミ室／学生ホール〉
- ㉒ 22号館〈講義室／総合情報センター〉
- ㉔ 24号館〈総合情報センター〉
- ㉕ 25号館〈人文学部事務局／講義室〉
- ㉖ 26号館〈研究室／ゼミ室〉
- ㉗ 27号館〈メディア教育センター・スタジオ／講義室〉
- ㉘ 28号館〈講義室／実験室〉
- ㉙ 29号館〈クラブ・サークルプラザ／体育・文化センター事務局〉
- ⑳ 30号館〈応用生物学部事務局／研究室／ゼミ室／実験室／講義室〉
- ㉑ 31号館〈研究室／ゼミ室／実験室／講義室〉
- ㉒ 32号館〈実験室〉
- ㉓ 33号館〈研究室／実験室／実習室〉
- ㉔ 36号館〈実験室／実習室〉
- ㉕ 50号館〈生命健康科学部事務局／研究室／ゼミ室／実験室／講義室〉
- ㉖ 51号館〈講義室／ゼミ室／実習室／学生ホール〉
- ㉗ 52号館〈講義室／研究室／実習室／多目的室〉
- ㉘ 53号館〈実験動物教育研究センター〉
- ㉙ 55号館〈講義室／研究室／実験室／実習室〉
- ㉚ 70号館〈現代教育学部事務局／研究室／ゼミ室／講義室〉
- ㉛ 71号館〈講義室／実習室／器楽演奏室／多目的室〉
- ㉜ 72号館〈講義室／実習室〉



- A 三浦幸平メモリアルホール
- F 創立者胸像
- K 三幸橋
- B キャンパスプラザ
- G 体育・文化センター
- L 弓道場
- C 第1学生ホール
- H 体育館・講堂
- M 洞雲亭／工法庵／燭柯軒
- R 温室棟
- D 附属三浦記念図書館
- I サブアリーナ
- N 野外ステージ
- S リサ農園
- E リサーチセンター
- J 高電圧実験室
- O 武道体育館

テレフォンガイド

お問い合わせ内容	担当部署
後援会について	●「父母との集い」 ▶ 後援会事務局(渉外部) 0568-51-4745(直通)
成績・学業に関すること	●試験・各種証明書(成績・在学・卒業・卒業見込) ●教職課程 ●その他、就学上の相談 ▶ 教務課 0568-51-4593(直通)
学生生活について	●休学・退学、住所変更等 ●奨学金 ●アルバイト ●下宿 ●クラブ活動 ▶ 学生課 0568-51-4697(直通) ▶ 学生相談室 0568-51-9843(直通)
就職について	●資格取得講座 ●インターンシップ ▶ キャリアセンター 0568-51-4184(直通)
学費・その他の納付金について	▶ 会計課 0568-51-4461(直通)
入学試験について	▶ 広報課 入試課 ※入試情報ホットライン 0120-873941(直通)
国際交流(留学)について	▶ 国際交流センター 0568-51-4694(直通)
生涯学習に関すること	●公開講座 ●オープンカレッジ ●アカデミックレクチャー ▶ エクステンションセンター 0568-51-4392(直通)
中部大学音楽祭・キャンパスコンサートについて	▶ 渉外部 0568-51-5250(直通)

中部大学／代表番号 ▶ 0568-51-1111 総合相談コーナー ▶ 0568-51-6417

中部大学ホームページもご利用ください。 <http://www.chubu.ac.jp/>

住所変更について

住居移転、町名変更などによって住所に変更があった場合、学生課への届け出が必要となります。お手数ですが、ご子息・ご息女に学生課までお越しくださるようご連絡をお願いいたします。

中部大学後援会就職活動援助

後援会では、資格取得講座、就職対策講座の受講料・受験料の補助をしております。ご子息・ご息女の就職活動のスキルアップや将来設計に、ぜひ受講をおすすめください。